取扱説明書

BS・110度 CS・地上デジタルチューナー内蔵 USBハードディスク録画対応・4K対応液晶テレビ

43A6100 50A6100 55A6100 65A6100 はじめに

機器の準備を する

テレビを見る

番組の録画、 再生、予約をする

接続した機器を使う

設定をする

Hisense ® ハイセンス









その他の情報

お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(☞ 2 ~ 7 ページ) は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

クイックガイド

BS・110度 CS・地上デジタルチューナー内蔵 USB ハードディスク録画対応・4K 対応液晶テレビ

●本書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

ここでは、本機をご使用になるときに必須の設定について説明します。詳細については各 見出し後の取扱説明書参照ページをご覧ください。

____ 付属品を確認する

取扱説明書

保証書







取扱説明書 × 1 部

保証書 × 1 部 リモコン×1台 リモコン用単四電池 ×2本 AC(電源)ケ**ー**ブル (1.8m)× 1 本 miniB-CASカード (レッドカード)×1枚









43A6100 台座×1式 50A6100 台座×1式 55A6100 台座×1式 65A6100

台座×1式

転倒防止用ひも ×1式

2 設置する

本機は重量物ですので、包装箱から取り出すとき、 運搬や設置を行うときは、2人以上で取り扱ってく ださい。また本機の液晶パネル部分は精密機器です ので、衝撃を与えないように、ていねいに扱ってく ださい。テレビが破損してけがの原因になることが あります。

置く場所を決める

- ●直射日光が当たらず、気温が安定している場所 を選んでください。
- グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所 を選んでください。



直射日光が当たる 場所、風通しの悪 い場所には置かな い。

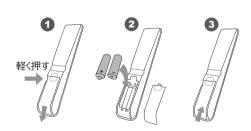
台座をつける

■取扱説明書 29 ページをご覧になり、台座を正しく取り付けてください。

転倒防止策を行う

■ 取扱説明書 28 ページをご覧になり、転倒防止 策を実施してください。

3 リモコンに乾電池を入れる



説明例:50A6100

(正面)



リモコン受光部は本体 の向かって左側にあり ます。この部分にリモ コンを向けて操作して ください。

4 アンテナをつなぐ / 他の機器をつなぐ

- ●アンテナの取り付け・配線は、必ず電気店・電気工事店にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご使用の場合はケーブルテレビ会社へお問い合わせください。(本機種は CATV パススルー対応です。)
- 集合住宅にお住まいの方は管理会社にご相談ください。

地上放送用アンテナ

地上デジタル放送の受信には UHF アンテナが必要です。現在UHFアンテナを設置していない場合は、新たに UHF アンテナをご購入ください。

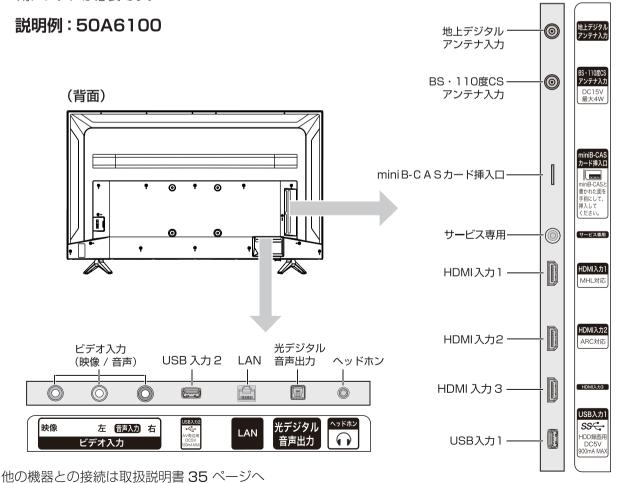
市販のアンテナケーブルを使用してアンテナ端子と地上デジタルアンテナ入力を接続します。

● ご使用になっているアンテナ線の種類によっては、市販の整合器・混合器・分配器などが必要になる場合があります。詳しくは電気店・電気工事店にご相談ください。

BS・110 度 CS 共用アンテナ

市販のアンテナケーブルを使用してアンテナ端子とBS・110度CSデジタルアンテナ入力を接続します。

- BS・110 度 CS アンテナには電源が必要です。本機からアンテナに、電源を供給する設定にする必要があります。また整合器や分配器は電流貫通型のものが必要になります。
- アンテナは BS・110 度 CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線/ブースター/分配機等は、110 度 CS 帯域(2,150MHz)まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。これまでご使用になっていた BS アンテナでも、性能や方向調整が十分な場合は BS デジタル放送を受信できますが、110 度 CS デジタル放送の受信には BS・110 度 CS 共用アンテナが必要です。

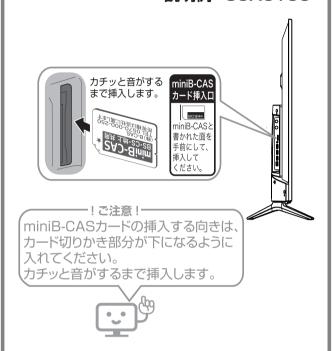


miniB-CAS (ミニビーキャス) カードを挿入する

デジタル放送をお楽しみいただくためには、 miniB-CAS カード(赤カード: BS・110度 CS・地上デジタル共用)を本機に挿入していた だくことが必要です。

付属の miniB-CAS カードを本機の背面側部の miniB-CAS カード挿入口に入れる

説明例:50A6100





全ての接続が終わったら、最後に電源コードを接続してください。

- 電源コードをテレビに差し込む
- 2 コンセントに電源コードのプラグを挿入する
- 本機前面の電源ランプが赤く点灯します。

電源ランプの色は、本機の状態により変わります。

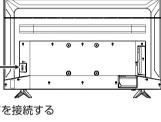
スタンバイ:赤

電源オン(録画、予約等無し):緑 スタンバイ、予約あり: 黄緑 電源オン、予約あり:青

スタンバイ、録画実行中:紫 電源オン、録画実行中:水色(青)

説明例: 50A6100

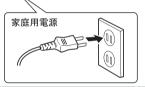
● 本機の電源コードのプ ラグを初めてコンセン トに挿入すると、視聴 状態になります。



電源コードを接続する

AC(電源)ケーブル(付属)

電源プラグをコンセントにつなぐ



電源を入れる

本体、またはリモコンの[電源]を押して、 電源を入れる



-般設定をする

本機の電源を初めて入れると、一般設定の画面が表示 されます。テレビ放送の視聴に必要な設定を行います。

言語を設定する

● [∧]/[∨]を押し、英語、日本語のいずれかを 選択し、 [決定] を押す

ユーザーモードを設定する

■ [∧]/[∨]を押し、標準モード、店頭モードの いずれかを選択し、【決定】を押す

お知らせ)

- 標準モードでご使用の時は、お部屋の明るさに応じて 自動的に画面の明るさを調整します。店頭モードでは、 映像が店頭の環境に合わせて最適化されます。
- 店頭モードに設定する場合、電源をオフにすると、設 定された情報が保存できません。

ネットワークを設定する

- [∧]/[∨]を押し、Wi-Fi、イーサネット、スキップのいずれかを選択し、「決定」を押す
- 画面の指示に従って、設定を行う

お知らせ

- Wi-Fi: 無線 LAN で接続します。 イーサネット:LAN ケーブルで接続します。 スキップ: ネットワーク接続をスキップします。
- Wi-Fi やイーサネットでネットワークに接続すると、 テレビ番組の双方向通信、Anyview Cast によるスマートホンなどからの画像転送、テレビ本体のバージョンアップが可能になります。

一般設定終了

●「完了しました。」と表示されたら、「決定」を押す

USB ハードディスクを登録する

- USB ハブを経由して、USB ハードディスクを使用することはできません。
- 本機で USB ハードディスクに録画した映像は、他の機器での再生はできません。(本機と同じ型番でも再生できません。)

本機に未登録の USB ハードディスクを接続する場合、予約や録画機能を使用すれば、登録画面が表示されます。

- **1** [メニュー]を押し、設定メニューが表示される
- 2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理を選択する
- **3** 接続している USB ハードディスクを選び、[**縁**] を押す

「ディスク登録しました。」と表示されたら、 登録します。

USB ハードディスクを取り外す

本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、必ず先に以下の操作を行ってください。

- **1** [メニュー]を押し、設定メニューが表示される
- 2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理を選択する
- **3** 接続している USB ハードディスクを選び、**[黄]** を押す

「USB ディスクを取り出しました。」と表示されたら、接続ケーブルを抜くか、電源を切っても安全です。

USB ハードディスクをつなぐ

USB ハードディスクをつなぐことで番組を録画することができるようになります。 (接続箇所は本クイックガイドの項目4を参照)

動作確認済み USB ハードディスクについて

- ※本機が対応している USB ハードディスクの容量 (公称値)は、160GB から 4TB までです。
- ※本機の USB 入力 1 は USB3.0 規格、USB 入力 2 は USB2.0 規格に対応してます。

? うまく受信できない、うまく 録画できないときは取扱説明書 **74~77**ページ参照

※最新の情報については、弊社ホームページに掲載していきます。 ・、

(www.hisense.co.jp)

目次

目次	1
安全上のご注意	2
まじめに	<u>C</u>
使用上のご注意・お手入れについて	1C
各部の名前	12
幾器の準備をする	23
付属品を確認する	24
リモコンについて	25
デジタル放送について	26
設置のしかた	28
アンテナの接続	31
LAN への接続	33
電源コードの接続	34
他の機器との接続	35
一般設定をする	40
テレビを見る	41
共通の操作	42
チャンネルを選ぶ	44
電子番組表(EPG)	45
番組の録画、再生、予約をする	47
番組の視聴予約をする	48
番組の録画、録画予約をする	50
録画した番組を見る、編集する	56
接続した機器を使う	59
接続した機器の映像を見る	60
写真、動画や音楽を再生する	61
段定をする	63
設定メニューについて	64
設定メニューから設定をする	65
TV メニューについて	72
その他の情報	73
故障かな?と思ったら	
用語の解説	78
主な仕様	8C
ライセンス及び商標などについて	
無線の周波数について	
バージョンアップについて	
保証とアフターサービス	.91



安全上のご注意

で使用の前に本書、特に「安全上ので注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損 害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。 内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。



この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故 が起こる可能性があります。



この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

図記号の意味 (例)



気をつけていただきたい という記号です。



してはいけないという 記号です。



していただきたいという 記号です。

警告(移動、設置)

● 正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落 下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあり ます。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてくださ い。落下や破損などにより、大けがの原因となります。 テレビの底面を持つときは、後ろ側から手を回して しっかりと持ってください。

修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ 時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってく ださい。

本機は12kgを超える重量物ですので、必ず2人以上 で運搬/移動/設置をしてください。



運搬/移動するときは接続されている線 などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグ やケーブルなどを全てはずしてください。電源プラグ を差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、 火災や感電の原因となることがあります。



・ 使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異 常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くように してください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよ くありません。適度の明るさの中でご覧ください。ま た、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲 れさせます。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因とな ることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- ・棚や押入の中に置かない。
- ・ホットカーペットの上に置かない。
- ·布をかけない。

⚠ 警告(移動、設置)(つづき)



🚺 周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通気孔がふさ がって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となりま す。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように 設置してください。

- ·上部:30 cm ·左右:10 cm
- ·下部:10 cm (壁掛けの場合)
- ·背面:6 cm



壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者 に取り付けてもらう



設置時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、取り付けが不適切 だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大け がの原因となることがあります。



スタンドを正しく取り付け、転倒防止の 処置を必ず行う

スタンドは本書にしたがって正しく取り付けてくださ い。また、スタンドや床、壁などの間に、適切な転倒 防止の処置を行ってください。転倒防止の処置をしな いと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機 が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平ら で充分に強度があり、落下しない所に置いてください。



乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したりして、けがの 原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や 故障の原因となることがあります。



🚫 湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、 虫の入りやすい場所、直射日光が当たる 場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉 の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄など により、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりす ることがあります。



本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあ ります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、 故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこ りが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてく ださい。故障の原因になるばかりか、修理できなくなる ことがあります。



水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感 電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用 は特にご注意ください。



本機の表面が割れたときは、電源プラグを コンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、 感電の原因になることがあります。



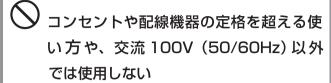
目や口に液晶を入れない / ガラスの破片 に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液 状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあり ます。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口 に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れる とけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に 素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。臭い をかぐこともやめてください。誤って目や口に入った ときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



安全上のご注意(つづき)

警告(電源コード・プラグ)



たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の 原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用す ると、火災や感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、 ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げ たり、加熱したりしない

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご 依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損し て、火災・感電の原因となります。



電源コードに重いものを載せたり、本機 の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因となります。



ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでくださ い。根本まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに はつながないでください。発熱して火災の原因となる ことがあります。電気工事店にコンセントの交換を依 頼してください。



電源プラグをつなぐのは、他機器との接 続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の 原因になることがあります。他機器との接続が終わっ た後に、電源コードを本機につないでから電源プラグ を壁のコンセントに差してください。



電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがた まって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原 因となります。定期的に電源プラグをコンセントから 抜き、ゴミやほこりを取ってください。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の 原因となることがあります。



ぬれた手で雷源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原 因になることがあります。



電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない でください。コードに傷が付き、火災や感電の原因と なることがあります。必ずプラグを持って抜いてくだ さい。



[」]雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プ ラグに触れない

感電の原因となります。



他の電源コードを本製品に使用したり、 付属の電源コードを他の商品に使用し ない。

火災・感電・ショートの原因となります。

⚠ 警告(使用)



◇ 本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷 きになり、大けがの原因となることがあります。



煙やにおい、音などの異常が発生したら、 本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となりま す。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様 自身による修理は絶対におやめください。



🚫 内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入っ たものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、 水が異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチ を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理を お買い上げ店に依頼してください。



分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改 造したりすると、火災や感電の原因となります。内部 の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

警告(電池)



電池を火の中に入れない。ショートさせ たり、分解、加熱、充電しない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損 する原因となることがあります。



雷池はプラスとマイナスの向きに注意し、 機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや 周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わな いときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がも れ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となるこ とがあります。



指定以外の電池を使わない。新しい電池 と古い電池または種類の違う電池を混ぜ て使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損 する原因となることがあります。



安全上のご注意(つづき)

1 注意



お手入れのときや、旅行などで長期間で使 用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、 安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機 は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは 切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。 完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセ ントから抜く必要があります。コンセントは製品の設 置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んで ください。



電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となるこ とがあります。



人が通行するような場所に置かない・ コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の 落下や転倒などによりけがの原因となることがありま す。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある 場所を避け、充分注意して接続・配置してください。



風通しの悪いところに入れない・密閉し た箱に入れない・じゅうたんや布団の上 に置かない・布などをかけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因とな ることがあります。



たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。 特にお子様やペットにはご注意ください。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んで ください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこり が付着して火災・感電の原因となることがあります。 また、電源プラグの刃に触れると感電することがあり ます。



液晶画面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因 となります。



内部の掃除をお買い上げ店に依頼する

内部にほこりがたまると火災・故障の原因となること があります。3年に1度は内部の掃除をお買い上げ店 にご依頼ください。



∕!\ 音量について

周囲の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみ ください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りや すいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、 隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。 ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激 しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強 く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴 覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがする ような場合は、音量を下げるか、使用を中止してくだ さい。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、 災害時などに避難が遅れてしまうなどの危険がありま す。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお 聞きください。



アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電 気店ご依頼ください。



🌓 指定された種類の電池を使用する

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや 周囲を汚損する原因となることがあります。



電池は幼児の手の届くところに置かない

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに 止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがある ときは、ただちに医師と相談してください。



雷池の液がもれたときは素手でさわらない

- ・電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありま すので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、 ただちに医師の治療を受けてください。
- ・皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に霜害を起こす恐 れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流して ください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、 医師に相談してください。



⚠ 廃棄するときは

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってく ださい。

⚠ 注意 (廃棄)



一般の廃棄物と一緒にしない

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場 で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。



家電リサイクル法に従って廃棄する

家電リサイクル法の規定により、お客様がで使用済み のテレビを廃棄される場合は、収集・運搬と再商品化 等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村 などの自治体に適正に引き渡すことが求められていま す。

詳細に関するお問い合わせは、家電製品協会 家電リ サイクル券センターまでお願いいたします。

電話: (フリーダイヤル) 0120-319640

ホームページ (URL):

http://www.rkc.aeha.or.ip/text/p procedure s.html

はじめに

この章では、本機をご利用いただく上での注意事項や各部の名前など、 最初に知っておいていただきたい内容を記載しています。

使用上のご注意・お手入れについて	ページ 10
各部の名前	12

使用上のご注意・お手入れについて

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷 めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置 いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶 パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見え たり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故 障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることが ありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることが ありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

• 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、 黒い点(滅点)が表れたりしますが、故障ではありま せん。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、 99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの 画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種の機能設定データや放送局 からのメール・番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様 が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが 記録される場合があります。
- 本機を廃棄・譲渡などする場合には、上記のメモリー に記録されているデータを消去することを強くおすす めします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメ モリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、 いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに 付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負 いかねます。また、いかなる場合においても、当社に て記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。
- 何らかの原因でコンテンツが外部録画機器で記録でき なかった場合や、外部録画機器で記録されたコンテン ツが破損あるいは消去された場合など、いかなる場合 においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあ らゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。 あらかじめご了承ください。

スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントか ら抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく 画面に触れないようにしてください。また画面の汚れ をふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってく ださい。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでく ださい。変質したり、塗装がはげたりすることがあり
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認 ください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くこ とがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニー ル製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげ たりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひど いときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふき とり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、 表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことが あるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くこ とがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質した り、塗装がはげたりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通の頻繁な自動車道 路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離 れた場所に立ててください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりすると、 映像が不安定になる原因となりますのでご注意くださ
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交 換することを心がけてください。美しい映像でご覧に なれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされ るところでは、アンテナが傷みやすくなります。映り が悪くなったときは、お買い上げ店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

• 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁 波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像 が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

長時間で使用にならないとき

• 長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

 この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では 放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しし てください

- 必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようにご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」 にならないように挿入してください。

取り扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い 衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面の パネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。 故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからで使用ください。
- 周辺温度は0~35℃の範囲内でで使用ください。正 しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

• 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面 の表示品位が低下する場合があります。

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

映像や音声の遅れについて

• テレビ放送、外部入力のソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

USB ハードディスクについて

- USB ハードディスクを本機に正しく接続してください。正しく接続されていないと、本機では USB ハードディスクの登録ができません。またハードディスクを破損するおそれがあります。
- 動作中は、テレビ本体、または本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。ハードディスクの故障の原因になります。

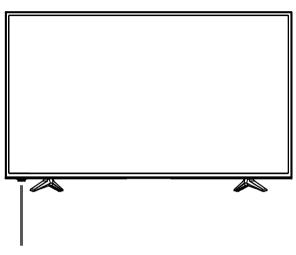


●各部の名前

本体操作部

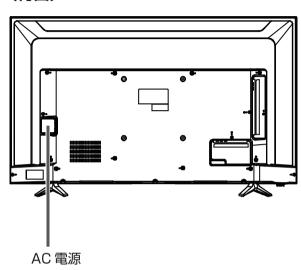
[43A6100]

(正面)



リモコン受光部/電源ランプ/電源

(背面)



[電源]	スタンバイと電源オンの切り 換えを行います。 また電源が入った状態で押す と、入力切換、電源、終了が 表示されます。
[音量+]/[音量-]	スピーカー(またはヘッドホ ン)からの音量調整を行いま す。
[選局+]/[選局-]	チャンネルの順送りによる選 局を行います。

お知らせ

●メニュー表示中に以下のボタンを押すと、メニューの 操作ができます。

[選局+]/[選局-]:前後の移動を行います。 [音量+]/[音量-]: 左右の移動を行います。

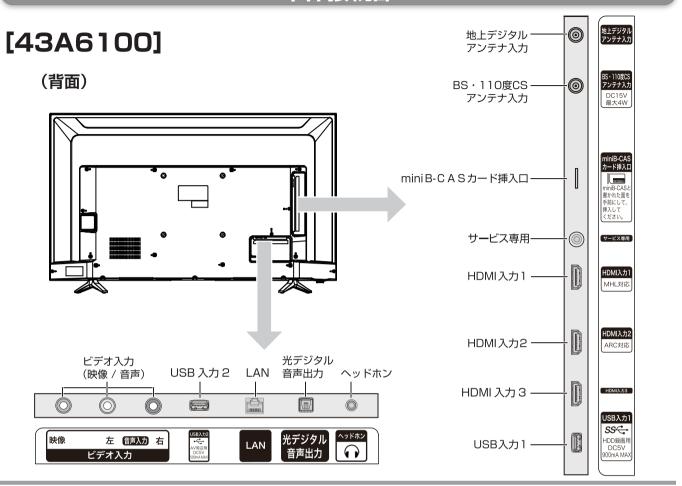
お知らせ)

● 電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

スタンバイ: 赤 電源オン(録画、予約等無し): 緑 スタンバイ、録画予約あり: 黄緑 電源オン、録画予約あり: 青 スタンバイ、録画実行中: 紫 電源オン、録画実行中: 水色

- ・状態遷移中では、上記の仕様とは異なる色の変化をす ることがありますが、故障ではありません。
- ・付属のリモコン以外で操作しても、LED ランプが点 滅するときがあります。

本体接続部



地上デジタルアンテナ入力

アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを接続します。

BS・110 度 CS アンテナ入力

アンテナケーブルを使用して BS・110 度 CS アンテナを接続します。

miniB-CASカード挿入口

miniB-CAS カードを挿入します。

サービス専用

サービスの者が使用いたします。お客様は何も接続しないでください。

HDMI 入力 1/HDMI 入力 2/HDMI 入力 3

市販のHDMI ケーブルを使用して対応機器を接続します。

USB入力1/USB入力2

市販 の USB ハードディスクや USB メモリー を接続します。

ビデオ入力(映像/音声)

市販のAVケーブルを使用して対応機器を接続します。

LAN

データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

光デジタル音声出力

市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

ヘッドホン

ヘッドホンと接続します。

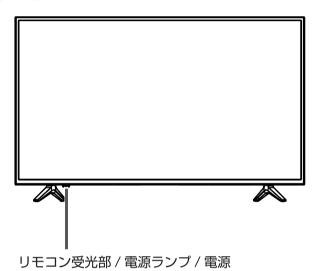


各部の名前(つづき)

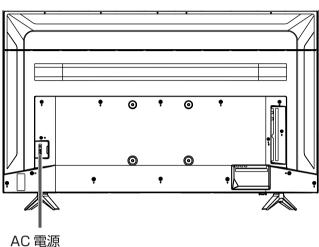
本体操作部

[50A6100]

(正面)



(背面)



[電源]	スタンバイと電源オンの切り 換えを行います。 また電源が入った状態で押す と、入力切換、電源、終了が 表示されます。
[音量+]/[音量-]	スピーカー(またはヘッドホ ン)からの音量調整を行いま す。
[選局+]/[選局-]	チャンネルの順送りによる選 局を行います。

お知らせ)

■電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

スタンバイ: 赤 電源オン(録画、予約等無し): 緑 スタンバイ、録画予約あり: 黄緑

電源オン、録画予約あり: 青

スタンバイ、録画実行中: 紫 電源オン、録画実行中: 水色

- ・状態遷移中では、上記の仕様とは異なる色の変化をすることがありますが、故障ではありません。
- ・付属のリモコン以外で操作しても、LED ランプが点 滅するときがあります。

お知らせ)

●メニュー表示中に以下のボタンを押すと、メニューの 操作ができます。

[選局 +]/[選局 -]: 前後の移動を行います。 [音量 +]/[音量 -]: 左右の移動を行います。

本体接続部 [50A6100] 地上デジタル アンテナ入力 地上デジタル **(** アンテナ入力 BS・110度CS アンテナ入力 (背面) BS·110度CS-0 アンテナ入力 mini B-C A Sカード挿入口minib-CASo 書かれた面を 手前にして、 挿入して ください。 0 0 サービス専用-サービス専用 0 0 HDMI入力1-٠ ٠ • MHL対応 HDMI入力2 HDMI入力2-ARC対応 ビデオ入力 光デジタル USB 入力 2 (映像/音声) LAN 音声出力 ヘッドホン HDMI入力3 HDMI 入力 3-

地上デジタルアンテナ入力

映像

アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを 接続します。

LAN

音声出力

BS・110 度 CS アンテナ入力

アンテナケーブルを使用して BS・110 度 CS アンテナを接続します。

mini B-CASカード挿入口

miniB-CAS カードを挿入します。

左 (音) 右

ビデオ入力

サービス専用

サービスの者が使用いたします。お客様は何も接続しないでください。

HDMI 入力 1 / HDMI 入力 2 / HDMI 入力 3

市販のHDMI ケーブルを使用して対応機器を接続します。

USB入力1/USB入力2

市販 の USB ハードディスクや USB メモリーを接続します。

ビデオ入力 (映像/音声)

市販のAVケーブルを使用して対応機器を接続します。

USB入力1-

USB入力1 *SS*←

HDD録画用

DC5V 900mA MAX

LAN

データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

光デジタル音声出力

市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

ヘッドホン

ヘッドホンと接続します。

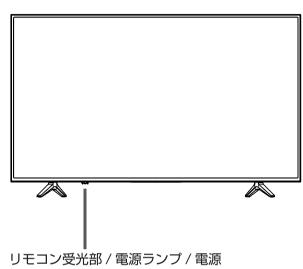


各部の名前(つづき)

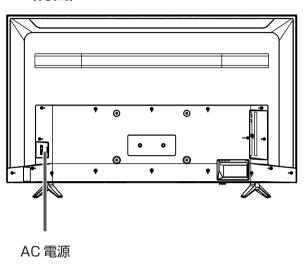
本体操作部

[55A6100]





(背面)



[電源]	スタンバイと電源オンの切り 換えを行います。 また電源が入った状態で押す と、入力切換、電源、終了が 表示されます。
[音量+]/[音量-]	スピーカー(またはヘッドホ ン)からの音量調整を行いま す。
[選局+]/[選局-]	チャンネルの順送りによる選 局を行います。

お知らせ)

● 電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

スタンバイ: 赤 電源オン(録画、予約等無し): 緑 スタンバイ、録画予約あり: 黄緑 電源オン、録画予約あり: 青

スタンバイ、録画実行中: 紫 電源オン、録画実行中: 水色

- ・状態遷移中では、上記の仕様とは異なる色の変化をす ることがありますが、故障ではありません。
- ・付属のリモコン以外で操作しても、LED ランプが点滅するときがあります。

お知らせ)

● メニュー表示中に以下のボタンを押すと、メニューの 操作ができます。

[選局 +]/[選局 -]: 前後の移動を行います。 [音量 +]/[音量 -]: 左右の移動を行います。

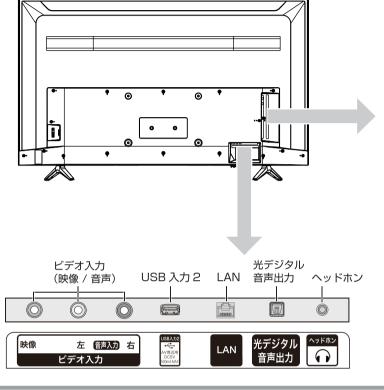
地上デジタル アンテナ入力

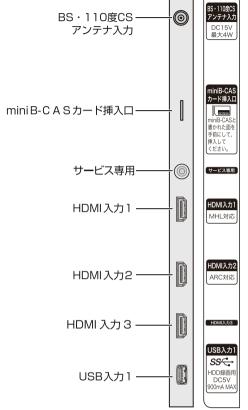
·**(**

本体接続部

[55A6100]

(背面)





地上デジタル

アンテナ入力

地上デジタルアンテナ入力

アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを接続します。

BS・110 度 CS アンテナ入力

アンテナケーブルを使用して BS・110 度 CS アンテナを接続します。

miniB-CASカード挿入口

miniB-CAS カードを挿入します。

サービス専用

サービスの者が使用いたします。お客様は何も接続しないでください。

HDMI 入力 1 / HDMI 入力 2 / HDMI 入力 3

市販のHDMI ケーブルを使用して対応機器を接続します。

USB入力1/USB入力2

市販 の USB ハードディスクや USB メモリー を接続します。

ビデオ入力(映像/音声)

市販のAVケーブルを使用して対応機器を接続します。

LAN

データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

光デジタル音声出力

市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

ヘッドホン

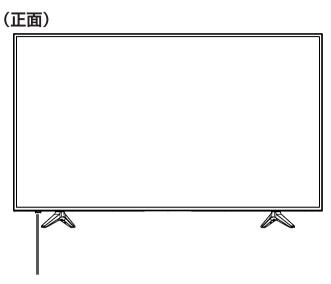
ヘッドホンと接続します。



各部の名前(つづき)

本体操作部

[65A6100]





(背面)

[電源]	スタンバイと電源オンの切り 換えを行います。 また電源が入った状態で押す と、入力切換、電源、終了が 表示されます。
[音量+]/[音量-]	スピーカー(またはヘッドホン)からの音量調整を行いま す。
[選局+]/[選局-]	チャンネルの順送りによる選 局を行います。

お知らせ

●メニュー表示中に以下のボタンを押すと、メニューの 操作ができます。

[選局 +]/[選局 -]: 前後の移動を行います。 [音量 +]/[音量 -]: 左右の移動を行います。

お知らせ)

AC 電源

■電源ランプは本機の状態により以下のように点灯します。

スタンバイ: 赤電源オン(録画、予約等無し): 緑 スタンバイ、録画予約あり: 黄緑電源オン、録画予約あり: 青

スタンバイ、録画実行中: 紫 電源オン、録画実行中: 水色

- ・状態遷移中では、上記の仕様とは異なる色の変化をす ることがありますが、故障ではありません。
- ・付属のリモコン以外で操作しても、LED ランプが点滅するときがあります。

本体接続部 [65A6100] 地上デジタル アンテナ入力 地上デジタル ·**(** アンテナ入力 (背面) BS・110度CS アンテナ入力 BS·110度CS· **(** アンテナ入力 mini B-C A Sカード挿入口-ര • 0 サービス専用-サービス専用 HDMI入力1-MHL対応 HDMI入力2 HDMI入力2-ARC対応 ビデオ入力 光デジタル USB 入力 2 LAN 音声出力 (映像/音声) ヘッドホン HDMI 入力 3-(SS↔ 映像 左 音 右 HDD録画用 DC5V 900mA MAX USB入力1-音声出力 ビデオ入力

地上デジタルアンテナ入力

アンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナを 接続します。

BS・110 度 CS アンテナ入力

アンテナケーブルを使用して BS・110 度 CS アンテナを接続します。

miniB-CASカード挿入口

miniB-CAS カードを挿入します。

サービス専用

サービスの者が使用いたします。お客様は何も接続しないでください。

HDMI 入力 1 / HDMI 入力 2 / HDMI 入力 3

市販のHDMI ケーブルを使用して対応機器を接続します。

USB入力1/USB入力2

市販 の USB ハードディスクや USB メモリー を接続します。

ビデオ入力(映像/音声)

市販のAVケーブルを使用して対応機器を接続します。

LAN

データ放送や双方向通信用にブロードバンドへ接続するためのモデムやルーターを接続します。

光デジタル音声出力

市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

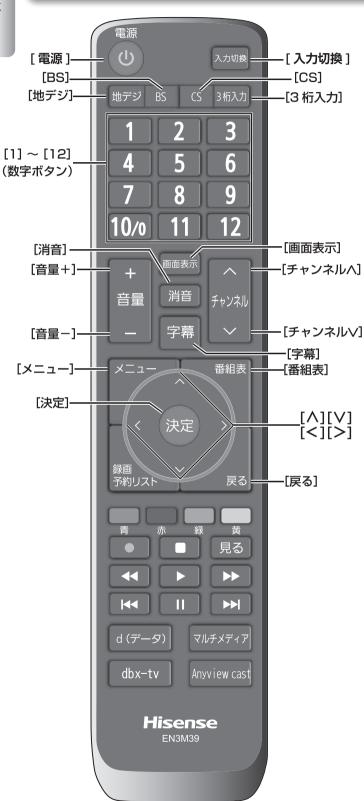
ヘッドホン

ヘッドホンと接続します。



各部の名前(つづき)

リモコン



[電源]

スタンバイと電源オンの切り換えを行います。

[入力切換]

接続している外部機器の映像に切り換えます。

「地デジー

地上デジタル放送を受信します。

[BS]

BS デジタル放送を受信します。

[CS]

110 度 CS デジタル放送を受信します。押す毎に CS1 と CS2 を切り換えます。

[3 桁入力]

デジタル放送または CATV チャンネルのチャンネル番号を直接入力して選局するとき使用します。

[1]~[12](数字ボタン)

チャンネルの直接選局などの数字入力に使用します。

[音量 +]/[音量-]

スピーカー (またはヘッドホン) の音量を調節します。

[消音]

消音します。

[画面表示]

受信チャンネルなどの情報を表示します。

[字幕]

字幕を表示します。

「チャンネル ∧]/「チャンネル V]

チャンネルの順送りによる選局を行います。

[メニュー]

メニュー画面を表示します。

$[\land 1/[\lor 1/[< 1/[> 1]$

メニュー操作中などに、項目を選択します。

[決定]

[∧]/[∨]/[<]/[>] での選択を確定します。

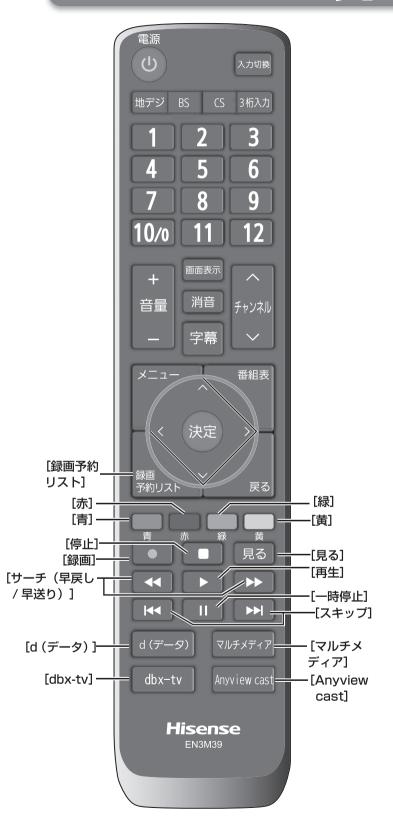
「番組表]

番組表の表示 / 非表示を行います。

[戻る]

前の表示に戻ります。

リモコン(つづき)



[青]/[赤]/[緑]/[黄]

デジタル放送中受信中の双方向サービスでの項目選択 や、デジタルメニュー中の操作選択をします。

[d(データ)]

デジタル放送番組に連動したデータ放送画面に切り換えます。

[II] (一時停止)

放送中の画面を静止します。

[dbx-tv]

dbx-tv 設定に入ります。

[Anyview cast]

Anyview cast機能を起動します。

以下のボタンは USB ハードディスク (市販品) 接続時に使用します。

[録画予約リスト]

録画予約リストを表示します。

[●](録画)

現在見ている番組の録画をします。

[■](停止)

録画や再生中の映像を停止します。

[見る]

録画した番組の一覧を表示します。

[◄ / ▶] (サーチ(早戻し/早送り))

再生中の場面を見ながら見たい場面を探します。

[▶](再生)

録画番組を再生します。

[► / ト] (スキップ)

チャプターの先頭から再生します。

[II] (一時停止)

再生中の映像を一時停止します。

[マルチメディア]

映像、写真、音楽などを再生します。

機器の準備をする

この章では、本機や本機に接続する機器の設置および設定方法などについてご説明いたします。

	ページ
付属品を確認する	24
リモコンについて	25
デジタル放送について	26
設置のしかた	28
アンテナの接続	31
LAN への接続	33
電源コードの接続	34
他の機器との接続	35
一般設定をする	⊿∩



● 付属品を確認する

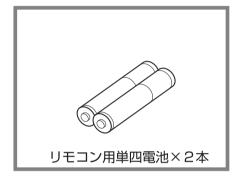
箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。



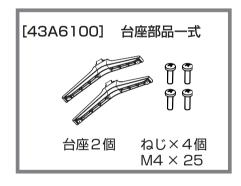


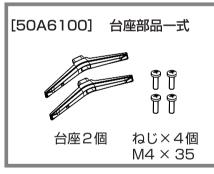


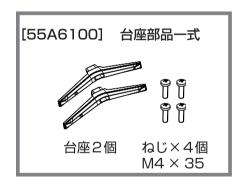


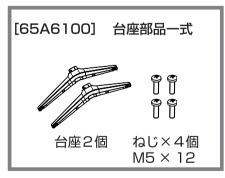
















● リモコンについて

電池の入れ方

- ●電池カバーを開ける
- 2 + 極、 極の向きを確認し、正しい方向で単 4 電池の 1 本目を入れる
- ❸続けて同様に2本目の電池を入れ、電池カバー がカチッというまで押して閉める

↑ご注意

電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することが あります。特に以下の点に注意してお使いください。

- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- ●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池はすぐに取り出す。
- ●液漏れした電池は使用しない。 漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。 万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流し てください。

お知らせう

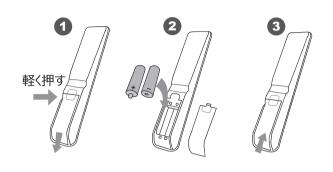
- ●付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交 換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておい てください。
- ■電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄 方法に従ってください。

操作のしかた

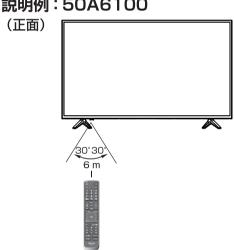
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

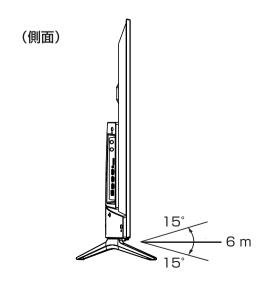
↑ご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水 に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでくだ さい。
- ●リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、 放置したりしないでください。熱により変形するこ とがあります。
- ■本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当 たっているとリモコンが動作しにくくなることがあ ります。その場合は照明または本体の向きを変える か、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作して ください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、 新しい乾電池と交換してください。











◉ デジタル放送について

本機では地上デジタル、BS、110度 CS デジタルの放送を視聴することができます。デジタル放送では、以下のよ うなアナログ放送には無い機能を楽しむことができます。

デジタル放送の特徴

高画質・高品質

デジタル放送では、従来のアナログ放送でみられるよう なゴースト(映像の二重化)やスノーノイズ(雪が舞っ ているようなちらつき)といった映像の乱れが起こりま せん。なかでもデジタルハイビジョン放送では、アナロ グの通常放送と比較して走査線数(ブラウン管方式のテ レビの映像の細密度を示す指数)で約2倍、解像度にし て約8倍の高精細映像を楽しむことができます。音声に ついても、音質が劣化しにくい方式で伝送しているため、 高音質な音声を再現できます。

データ放送

テレビ番組と連動したデータ放送や、天気予報や地域情 報などの独立したデータ放送の受信ができます。

電子番組表(EPG)

デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情 報が含まれています。これを利用して画面上に番組表を 表示することができます。

したがって、最初にご使用になるとき、あるいは電源コー ドを長期間(一週間以上)外していた場合などには表示 されません。電源スタンバイ(電源ランプが赤)の状態で あれば自動的に受信して最新の番組表に更新されます。

双方向サービス

テレビ上でのショッピングやリクエスト、クイズ番組の 解答など、視聴者として番組に参加することができます。 双方向通信をなさりたい場合は ADSL などのサービスを 提供するプロバイダーとの契約が必要です

マルチ(複数)チャンネル

デジタル放送では、一つのチャンネルあたり、6MHzの 帯域が与えられています。この帯域はさらに 430kHz ず つ、13のセグメントとよばれる帯域に分割されています。 この 13 のセグメントのうち、デジタルハイビジョン放 送(HDTV)では、12セグメントを使って放送されます。 標準画質放送 (SDTV) の場合は一つの番組では 4 セグ メントしか使わないので、一度に3つの番組を放送する ことができます。

なお、本機は受信中の放送が HD か SD かを自動判別し て映像を表示します。

デジタル音声放送(デジタルラジオ)

従来のアナログラジオ放送(AM、FM、短波)とは異なり、 音楽 CD 並みに高音質な音声のみの放送を楽しむことが できます。地上デジタル音声放送(デジタルラジオ)には、 本機は対応しておりません。

臨時編成サービス

スポーツ中継が延長になった場合などに、別チャンネル で予定されていた番組を放送することができます。(イベ ントリレー)

字幕放送

デジタル放送の番組のせりふなどの音声を、文字にして 画面に表示させることが できます。

文字スーパー

地域情報や速報など、番組に連動しない文字情報(文字 スーパー)を画面に表示することができます。

緊急警報放送

地震など大規模災害が発生した場合や、津波警報が発表 された場合などに放送される警報放送です。災害の発生 に伴う被害の予防や軽減に役立たせることを目的として います。本機では、現在視聴中のチャンネルで緊急警報 放送が開始された場合、「緊急警報放送を行っておりま す。」のメッセージを表示します。

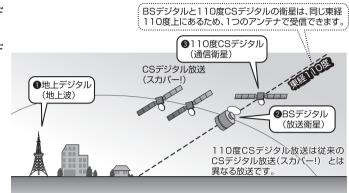
(本機では対応しておりません)

※ 上記のサービスや機能は、全てのデジタル放送の種類や 放送局、番組で行っているというものではありません。

本機で視聴可能なデジタル放送の種類

本機で視聴できるデジタル放送は、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタルの3 種類のみです。

スカパー! (スカパー!e2 を除く) など、上記を除くデジタル CS 放送には対応しておりません。



デジタル放送を視聴するための準備

アンテナなどについて

デジタル放送を視聴するためには、受信用アンテナの用意をする必要があります。また、BS・110度 CS デジタル放送を受信するには、放送局や放送事業者に受信申し込みをする必要があります。

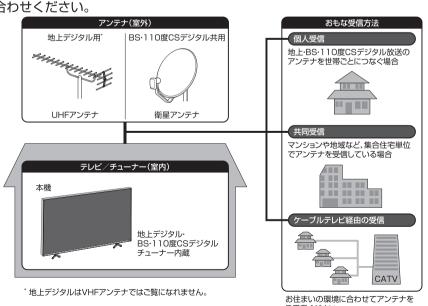
これらの準備の仕方は、本機をご使用になる環境によって異なります。詳しくはお買い上げ店などでご確認ください。

ケーブルテレビをご利用の場合

本機はケーブルテレビのパススルー方式(同一周波数または UHF 帯域周波数変換)および帯域外周波数パススルーに対応しております。詳しくはご契約のケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

お知らせ)

- ●地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。現在お使いのアンテナが UHF 対応のものであれば、基本的にそのままで使用いただけますが、場合によっては調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- ●衛星放送用には BS・110 度 CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器などは、110 度 CS 帯域 (2,150MHz) まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。BS デジタル放送専用のアンテナでは 110 度 CS 放送は受信できません。





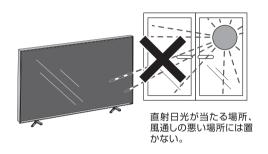
● 設置のしかた

本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、水平で安定し た場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

設置の手順

置く場所を決める

- 直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選ん でください。
- グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選ん でください。



2 台座をつける

⚠ご注意

- 壁掛けの設置をする場合以外は、台座を外さないで ください。
- ●液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

配置する

介ご注意

●液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。

4 転倒防止策を実施する

付属の転倒防止器具を使って転倒防止策を実施してく ださい。

テレビ本体背面の VESA 規格のねじ穴の一つに、転倒 防止器具の樹脂のアダプター部分を付属のねじで固定 します。もう一方の輪の部分は壁などに引っかけて固 定します。

⚠ご注意

- ●本機が転倒するとお客様のけがや本機の故障につな がります。必ず転倒防止策を行ってください。
- ●上記の方法で本機の固定ができない場合は、お買い 上げ店などにご相談ください。



壁に掛けるとき

本機を市販の壁掛け用の金具を使用して壁に掛けること もできます。

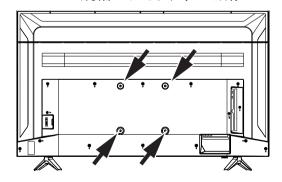
テレビ本体背面の VESA 規格のねじ穴を使用します。

介 ご注意

●壁に掛ける際は、必ずお買い上げ店または工事業者 にご依頼ください。

説明例:50A6100

VESA規格 ねじ穴(4カ所)



通風孔について

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる ことがあります。風通しの悪い場所(棚や押入れの中など) や、じゅうたんや布団の上に置かないでください。また 布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風 孔にたまったごみを除去してください。

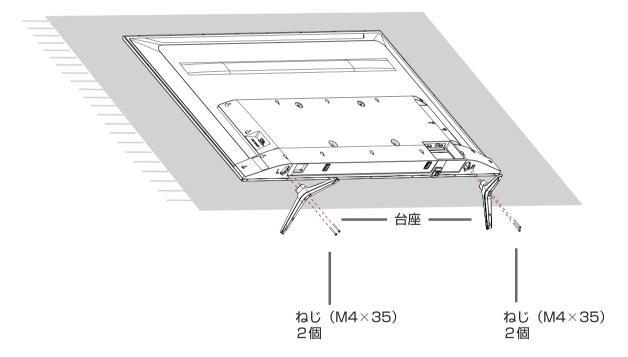
台座をつける

台座を本機にしっかり固定する

⚠ ご注意

- 組み立てる際は、つなぎ目の端部などでけがをしないように、手袋を着用してください。
- 毛布や保護シートを敷き、本体や液晶画面を傷つけないように、画面を下にして置く
- 2 台座とテレビの溝の形状を合わせて、台座を 2 カ所を付属のねじで固定する

説明例:50A6100





設置のしかた(つづき)

miniB-CAS カードを入れる

miniB-CAS カードについて

- 地上デジタル放送・BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送が視聴制限に使用しているのが miniB-CAS カードです。
- デジタル放送をお楽しみいただくためには、miniB-CAS カードを本機に挿入していただくことが必要です。

お知らせ)

- ■スカパー!e2、WOWOW などの有料サービスをご利用される場合は、別途契約が必要です。
- miniB-CAS カードに関するお問い合わせは、カードの 裏面記載の(株)ビーエス・コンディショナルアクセ スシステムズ カスタマーセンターまでお願いいたし ます。



miniB-CAS カードの入れかた

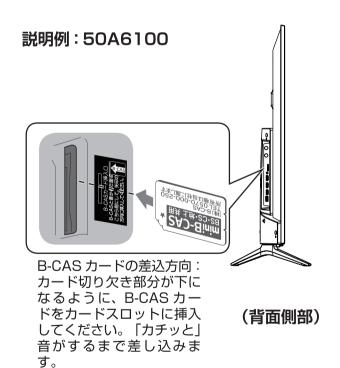
- ●本機の電源を切る
- ②同梱の「ビーキャス(miniB-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙から miniB-CAS カードをはがす
- 3 miniB-CAS カードを挿入する

お知らせ)

- miniB-CAS カードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままで使用ください。
- miniB-CAS カードの盗難などにご注意ください。他人がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合も、視聴料はお客様の口座に請求されます。
- miniB-CAS カードは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されているものです。本機を廃棄なさる場合は同社にご返却ください。

取扱い上のご注意

- miniB-CAS カードを折り曲げたり、傷つけたりしないでください。破損などによる miniB-CAS カードの再発行は有料です。
- miniB-CAS カードの金属部(集積回路)には触れないでください。
- miniB-CAS カードの抜き差しは、必要な場合を除い て行わないようにしてください。





● アンテナの接続

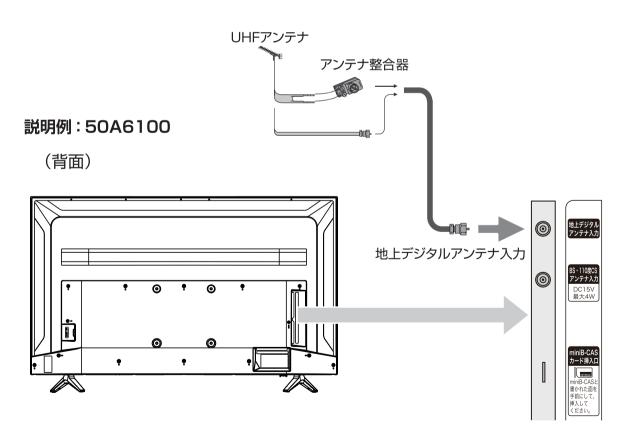
⚠ ご注意

- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの再送信の方式によって接続のしかたが異なります。詳しくは、 ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

UHF アンテナを接続する

市販 のアンテナケーブルを、地上デジタルアンテナ入力 端子と UHF アンテナに直接接続します。

- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用し ます。詳しくは販売店などにお問い合わせください。
- アンテナをアンテナ入力端子に接続するときは、同梱 のアンテナケーブルを使用してください。
- ご自宅のアンテナ線がフィーダー線の場合は、円筒形 の同軸ケーブルに変換するため、市販のアンテナ整合 器をお使いください。



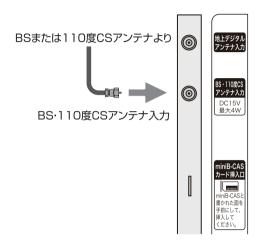


アンテナの接続(つづき)

BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する

市販のアンテナケーブルを、BS・110度 CS デジタルアンテナ入力端子と BS・110度 CS アンテナに直接接続します。

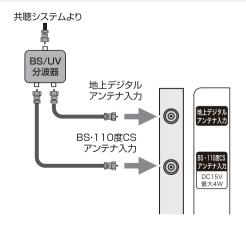
- ・アンテナは BS・110 度 CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器などは、110 度 CS 帯域(2,150MHz)まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。これまでご使用になっていた BS アンテナでも、性能や方向調整が十分な場合は BS デジタル放送を受信できますが、110 度 CS デジタル放送の受信には BS・110 度 CS 共用アンテナが必要です。
- スカパー!e2を除くスカパー!用のアンテナでは 110 度 CS デジタル放送は受信できません。
- BS・110度CS共用アンテナの取り付けについては、 アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子に VHF/ UHF のアンテナ線を接続しないでください。故障の原 因となります。
- 家庭用分配器を使って複数の BS 機器をつなぐときは、 どの端子からも電源を供給するタイプを必ずお使いく ださい。また、本機の電源をスタンバイ・オフ状態に したときはアンテナ電源は供給されません。他の BS 機器を本機がオフまたはスタンバイの時に使う場合は、 当該機器より電源を供給してください。
- ・[メニュー] を押して、設定メニュー→ チャンネル設定 → 受信設定 → 衛星放送 → アンテナ電源でアンテナ電源の設定をオンに設定してください。



マンションなどの共聴システムで接続する

まずはお住まいのマンションなどが、地上デジタルやBS・110度CSデジタルにどのように対応しているかを、マンション管理会社などにご確認ください。BS・110度 CS と VHF/UHF が混在されている場合は、市販のBS/UV 分波器を使用して接続します。分波器は110度 CS 帯域(2,150MHz)まで対応している金属シールドタイプをお選びください。

[メニュー] を押して、設定メニュー → チャンネル設定 → 受信設定 → 衛星放送 → アンテナ電源でアンテナ電源の設定をオフに設定してください。





デジタル放送では、ADSL などのブロードバンド回線に接続してデータ放送の双方向サービスを利用することができます。双方向サービスを使用すると、ご家庭からテレビ局に向けてクイズ番組の回答やアンケートなどの情報を送ることができます。

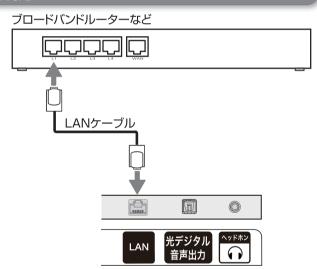
お知らせ)

- 双方向サービスを利用しない場合、LAN への接続は必要ありません。
- 双方向サービスを利用するには、ADSL などのサービスを提供する回線業者やプロバイダーへの加入契約が必要です。本書では、すでにパソコンがインターネットに接続されているなどブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでなく、これから加入契約をされる場合は、サービスを提供する回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- ●回線業者やプロバイダーとの契約内容によっては、複数台の接続ができない場合や、接続にあたって追加料金が必要な場合があります。回線業者やプロバイダーにご相談ください。
- ●接続に必要なブロードバンドルーターなどの機器は、回線業者やプロバイダーの指定された製品をお使いください。
- ■回線業者やプロバイダーから提供される説明書もよくお読みください。不明な点は回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- ●USB接続のADSLモデムをお使いのときは、回線業者やプロバイダーにご相談ください。

有線 LAN で接続する

市販の LAN ケーブルを使い、ブロードバンドルーターなどの LAN ポートと本機の LAN 接続端子を接続します。

- お使いの FTTH 回線終端装置、ケーブルモデム、または ADSL モデムにルーター機能がある場合は、LANポートの一つと本機の LAN 端子を接続してください。 LANポートに空きがない場合は回線業者やプロバイダー指定のハブを使用して接続してください。
- [メニュー] を押し、設定メニューが表示され、機器 設定→ネットワーク→イーサネットから設定を行って ください。



無線 LAN で接続する

本機に無線 LAN モジュールを内蔵していますので、ご家庭に 無線 LAN 環境があれば、本機の設置場所に関係なく LAN 接 続することができます。

- ・[**メニュー**] を押し、**設定メニュー→機器設定→ネットワー ク→ Wi-Fi 設定**からネットワークを設定します。
- ・Wi-Fi 設定画面で、接続したい無線ネットワークを選び、 [決定]を押します。暗証番号入力画面が表示され、[決定]を押して画面キーボードが出てきます。暗証番号を入力し、 [【<】]を選択します。
- ・WPS 経由の接続:WPS で無線接続を行います。
- ・新しいネットワークを追加:現在表示されていない SSID のネットワークに対し、手動で追加することができます。新しいネットワークを追加を選択し、SSID を入力し、セキュリティタイプを選択し、追加してください。接続に成功した無線ネットワークはスキャンされた無線ネットワーク一覧に表示されます。





電源コードの接続

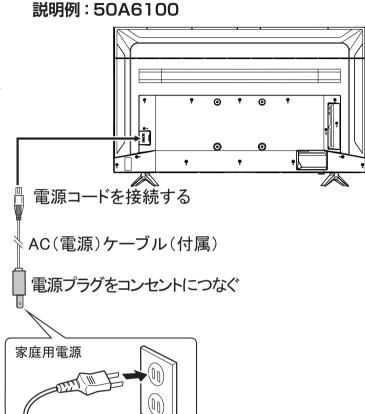
接続する

全ての接続が終わったら、最後に電源コードを接続してください。

- 電源コードをテレビに差し込む
- 2 コンセントに電源コードのプラグを挿入する

お知らせ)

- 本機の電源コードのプラグを初めてコンセントに 挿入すると、視聴状態になります。
- 本機またはリモコンの**「電源**」を押すと、本機が スタンバイ状態になります。再度本機またはリモ コンの**「電源**]を押すと、視聴状態に戻ります。
- 消費電力を減らすために、短時間で使用にならないときは、スタンバイにしてください。長時間で使用にならないときは、電源プラグを抜いてください。



電源に関するご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 電源プラグは、抜き差しがしやすい位置の、壁のコンセントに直接差すようにしてください。
- 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定などが無効になってしまうことがあります。またハードディスクが故障するおそれがあります。まずリモコンの[電源]を押して電源を切り、後で電源プラグを抜いてください。





● 他の機器との接続

本機では、他の機器を接続して映像や音を楽しんだり、本機で受信した番組を他の機器(市販品)に録画することがで きます。

⚠ ご注意

- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりと行ってください。
- ノイズが出る場合は、機器間の距離が十分にとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

USB ハードディスクを接続する

市販の USB ハードディスクを USB 端子に 2 台接続することができます。

市販の USB メモリーを USB 端子に 2 台接続することができます。

お知らせ)

- USB 端子には USB ハードディスク、USB メモリー以外の USB 機器の使用はできません。
- USB ハードディスク、USB メモリーは本機との相性で使用できない場合があります。

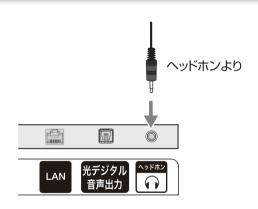
市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホンジャッ クに接続します。

ヘッドホン優先の設置はオフにした場合、本機のスピー カーから音も出します。リモコンの [音量 +]、[音量 -] で本機の音量しか調整できません。ヘッドホンの音量は **音声設定→ヘッドホン→ヘッドホン音量**から音量調整が できます。

ヘッドホン優先の設置を**オン**にした場合、リモコンの「 音量 +1、「 音量 -1 で、又は音声設定→ヘッドホン→へ ッドホン音量から音量調整ができます。

⚠ ご注意

- 大きな音量設定でヘッドホンプラグを抜くと、ス ピーカーから大きな音が出ます。音量を下げてから、 ヘッドホンプラグを抜くようにしてください。
- ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺 激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳 を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞く と、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴 りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中 止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠っ てしまうと、災害時などに避難が遅れてしまうなど の危険があります。呼びかけられたら返事ができる くらいの音量でお聞きください。



お知らせ

● ヘッドホンを接続するとき、本機のスピーカーから、 音を出すか出さないかの設定ができます。

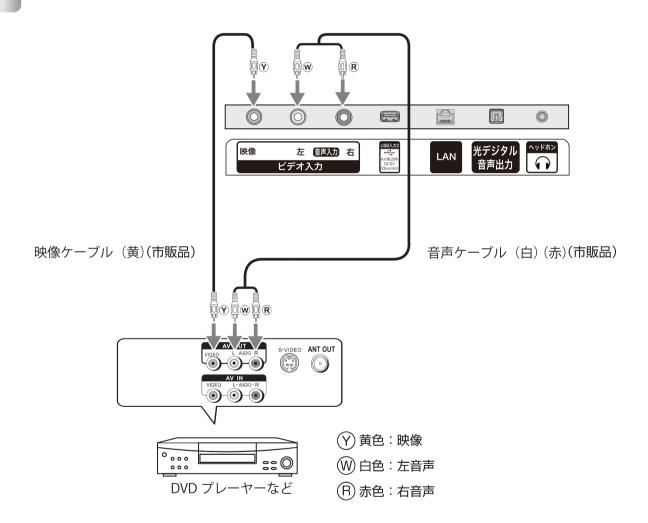


他の機器との接続(つづき)

DVD プレーヤーなどを接続する

ビデオ入力端子に接続する

市販の AV ケーブルで、DVD プレーヤーなどの AV 出力端子と本機のビデオ入力端子 / ビデオ入力(音声)端子を接続します。黄色のプラグをビデオ入力端子に、赤と白のプラグをビデオ入力(音声)端子に、ブラグと端子の色をそれぞれ合わせるようにして接続してください。



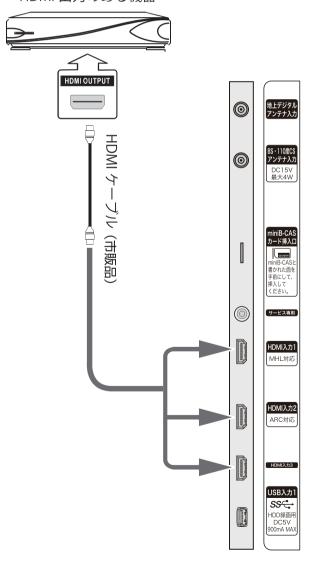
HDMI 入力端子に接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、ブルーレイレコーダー、HDD レコーダー、デジタルチューナーなどの HDMI 出力と本機の HDMI 入力 1 端子、HDMI 入力 2 端子、または HDMI 入力 3 端子のいずれかとをつないでください。 HDMI ケーブルはデジタル信号で映像と音声を 1 本で接続します。

お知らせ

- パソコンなどの DVI 出力のある機器との接続は保証しておりません。
- ●映像・音声が表示・出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。

HDMI 出力のある機器



● HDMI ケーブル(市販品)で接続する

市販のHDMI ケーブルでパソコンの HDMI 出力と、 本機のHDMI 入力端子を接続します。対応フォーマット は下記の通りです。

解像度	信号名
640x480@60Hz	VGA
800x600@60Hz	SVGA
1024x768@60Hz	XGA
1280x768@60Hz	WXGA
1360x768@60Hz	WXGA
1366x768@60Hz	WXGA
1280x1024@60Hz	SXGA
1920x1080@60Hz	Full HD
3840 × 2160@24Hz 3840 × 2160@25Hz 3840 × 2160@30Hz 3840 × 2160@50Hz 3840 × 2160@60Hz	4K

パソコン側で外部出力の設定をしてください。詳しくは パソコンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ)

●全てのパソコンでの動作検証は行っておりません。また、パソコンのビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。



他の機器との接続(つづき)

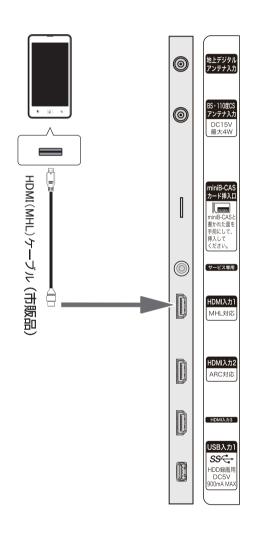
MHL で接続する

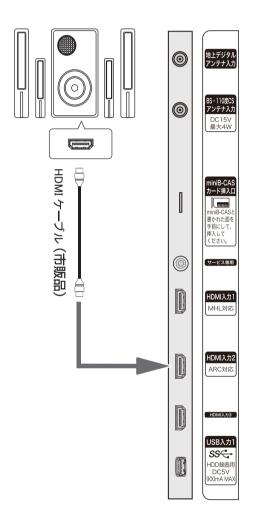
モバイル・ハイデフニション・リンク(MHL)は、携帯機器向けの高速映像伝送用のインターフェース規格である。

市販の HDMI-MHL ケーブルで本機と携帯機器端子と接続します。

ARC で接続する

市販の HDMI ケーブルをデジタルオーディオ機器と接続します。ARC は HDMI ケーブル経由でデジタル音声が出力できます。本機にオーディオ機器が接続されている場合のみ ARC 機能に対応するのでご注意ください。





光デジタルケーブルで AV アンプなどを接続する

市販の光デジタルケーブルで AV アンプなどの光デジタル音声入力と、本機の光デジタル音声出力を接続します。 光デジタル接続を使用することにより、AV アンプなどから音声を出力し、5.1ch の臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を以下の三つから選ぶことができます。

オフ: 光デジタル音声出力から音声を出力し

ません。

PCM: MPEG-2 AAC またはドルビーデジタ

ルに対応していないオーディオ機器に接続する場合に設定します。ただしサンプリングコンバータを内蔵している

必要があります。

ビットストリーム: MPEG2 AAC またはドルビーデジタル

の信号をそのまま出力します。



HDMI 連動 (CEC) 対応機器と接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、HDMI 連動 (CEC) 対応機器 (AV アンプ、ブルーレイレコーダーなど) を接続することにより、本機のリモコンで操作が可能です。

LAN

映像

ビデオ入力

本機の HDMI 2 入力端子は ARC(オーディオリターンチャンネル)に対応しています。ARC 対応の AV アンプと HDMI ケーブルで接続することにより、デジタル音声を AV アンプに出力することができます。接続する AV アンプによって、デジタル音声出力設定をすることができます。

[メニュー]を押し、設定メニューが表示され、機器 設定 → CEC 機能から HDMI 制御はオンにする

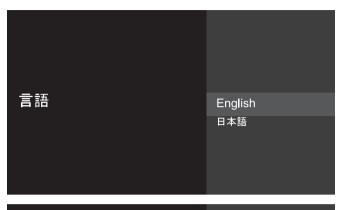
お知らせ

- HDMI 連動 (CEC) に対応した、AV アンプとブルーレイレコーダーを同時に使用する場合は、本機とレコーダーの間に AV アンプを接続してください。またブルーレイレコーダー再生時に、映像より音声が進んで聞こえる場合は、AV アンプの音声遅延設定で調整してください。
- HDMI 連動 (CEC) 対応機器を使用するには、HDMI 連動設定が必要です。また接続するAV アンプやブル ーレイレコーダー側の設定も必要です。

詳しくは各機器の取扱説明書をお読みください。



- 一般設定をする



本機の電源を初めて入れると、一般設定の画面が表示されます。テレビ放送の視聴に必要な設定を行います。

言語を設定する

■ [∧]/[∨]を押し、英語、日本語のいずれかを 選択し、「決定」を押す

ユーザーモードを設定する

■ [∧]/[∨]を押し、標準モード、店頭モードのいずれかを選択し、「決定」を押す

お知らせ)

- ●標準モードでご使用の時は、お部屋の明るさに応じて 自動的に画面の明るさを調整します。店頭モードでは、 映像が店頭の環境に合わせて最適化されます。
- 店頭モードに設定する場合、電源をオフにすると、 設定された情報が保存できません。

ネットワークを設定する

- **1** [∧]/[∨]を押し、**Wi-Fi、イーサネット、ス** キップのいずれかを選択し、**[決定]**を押す
- 2 画面の指示に従って、設定を行う

お知らせ

- Wi-Fi: 無線 LAN で接続します。 イーサネット:LAN ケーブルで接続します。 スキップ: ネットワーク接続をスキップします。
- Wi-Fi やイーサネットでネットワークに接続すると、 テレビ番組の双方向通信、Anyview Cast による スマートホンなどからの画像転送、テレビ本体のバ ージョンアップが可能になります。

一般設定終了

●「完了しました。」と表示されたら、「決定」を押 す

ユーザーモード

標準モードでご使用の時は、お部屋の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

標準モード店頭モード

ネットワーク

「双方向通信」・「Anyview Cast」・「アップデート」 にのみ対応、インターネット接続には対応してお りません。 Wi-Fi

イーサネット スキップ

完了しました。

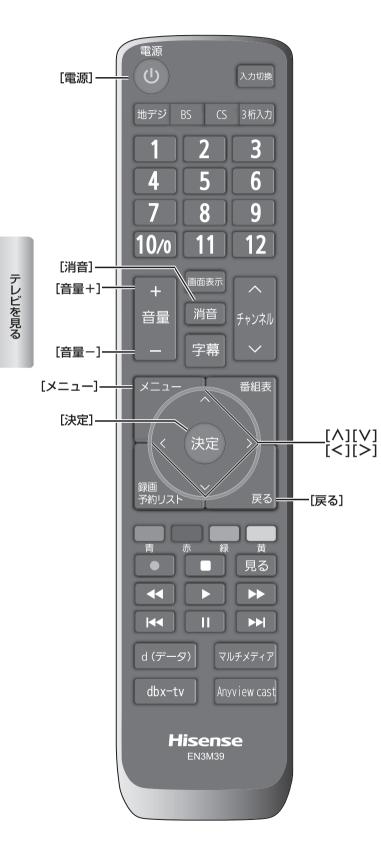
設定が完了しました。 テレビの視聴をお楽しみください。

テレビを見る

この章では、テレビを見るための基本的な使いかたについて説明しています。

	ページ
共通の操作	······42
チャンネルを選ぶ	44
電子番組表 (EPG)	45

● 共通の操作



電源を入れる/切る

電源を入れる

● [電源]を押す 本体の電源ランプが緑に点灯します。

電源を切る

● もう一度、「電源]を押す

↑ご注意

● 本機は[電源]を押して電源を切った状態のときは、 常に微弱な電流が流れています。旅行など、本機を 長時間使用しない場合で、録画予約をしていないと きは、コンセントを抜いて(電源ランプ:消灯) ください。

音量を調節する

● [音量 +]/[音量一] を押す

一時的に音を消す

[<][>] ● [**消音**]を押す

もとに戻すには

- [消音] を再度押す
- [音量+]を押す

チャンネルスキャン

テレビを見る場合、チャンネルリストが表示されます (チャンネルのスキャン完了した場合)。

スキャンが完了していなかった場合、スキャンしてくださいのメッセージが表示されます。

スキャンにする場合、スキャン画面が表示されます。

テレビを見る

初めてご使用になった場合、情報バー表示、録画 開始、開始チャンネルリストなどの操作画面が表 示されます。



▲ 情報バー表示

▼ 録画開始

[決定] 開始チャンネルリスト

お知らせ)

● 画面の提示に従い操作を行ったら、メッセージが消えます。

設定メニューについて

■ [メニュー] を押し、設定メニューから設定したい項目が表示されます。



TV メニューについて

■ [メニュー] を押し、TV メニューを選択すると、 設定したい項目が表示されます。



● チャンネルを選ぶ



お知らせ)

- チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時 間がかかる場合がありますが、映像信号の変換など に時間がかかるためで、故障ではありません。
- 放送の種類によっては他の機能が追加されている場 合があります。この場合、各ボタンの機能はテレビ 画面に表示されます。

放送を切り換える

● [地デジ]/[BS]/[CS] を押して放送の種類 を選ぶ

お知らせ

-[チャンネル∧] **● [CS]** を押す毎に CS1 と CS2 を切り換えます。

チャンネル番号で選局する

(ワンタッチボタン選局)

● お好みのチャンネル番号の数字ボタンを押す

放送局番号で選局する

- **1** [3 桁入力]を押す
- **2** お好みの放送局の放送局番号を[1]から[1**0**] までの数字ボタンを押して入力する

[10] は「0(ゼロ)」として使用します。

選局ボタンで選局する

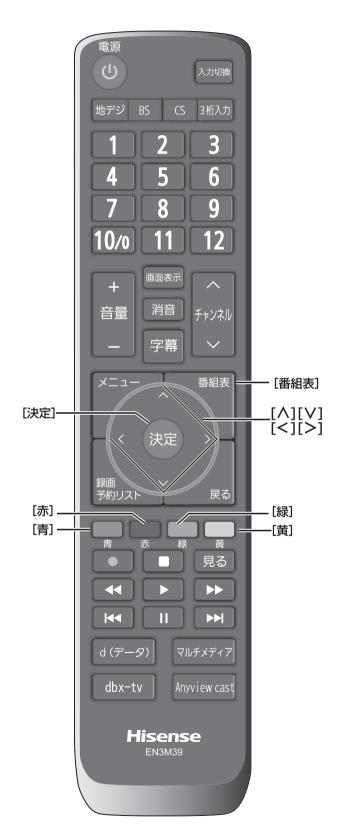
● 「チャンネル 人] / 「チャンネル V] を押して 選局する

番組表から選局する

- **1**「番組表] を押す
- **2**[<]/[>] を押して現在放送中の見たい番 組を選び、「決定]を押す
- 3 番組の内容、属性が表示されるので、確認し て [決定]を押す



電子番組表 (EPG)



電子番組表を表示する

電子番組表(EPG)を表示します。

● [番組表]を押す

「∧]/[∨]/[<]/[>]を押して番組を選択します。

ボタン		設定項目	設定内容
[決定]		番組詳細	番組情報を表示します。
[青]		番組表メニュー	番組検索、分類表示、表示 内容、視聴予約一覧、録画 予約一覧、録画一覧を選択 します。
[赤]		拡大表示 / 縮小表示	番組表を拡大/縮小します。
[緑]		前日	前日の番組を表示します。
[黄]		翌日	翌日の番組を表示します。

お知らせ

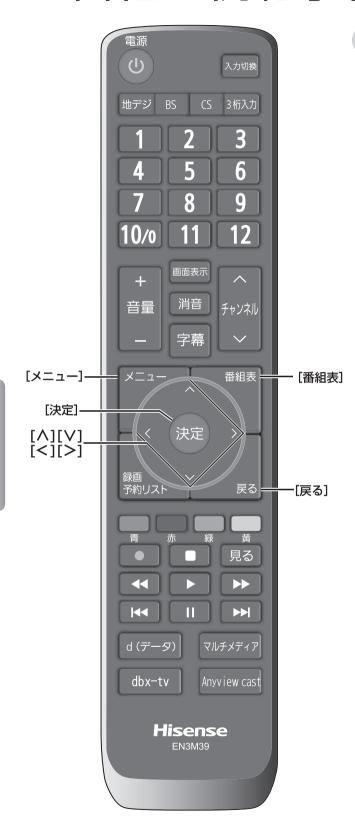
- 今日を含めて8日分の番組が一覧できます。
- ●電子番組情報は放送局より放送されます。番組情報が一定のチャンネルで放送されますので、番組内容や日付が表示できない場合があります。新しい情報が利用できる場合、表示が自動更新されます。
- デジタルテレビ放送のみ、電子番組表が利用できます。
- 予約はまだ放送していない番組に適用します。
- 録画機能を使用する場合、録画データ保存用機器を本機に接続してください。

番組の録画、再生、予約をする

この章では、番組の視聴予約、録画予約、録画した番組の再生について説明しています。 録画予約や録画した番組の再生を行うには USB ハードディスク(市販品)が必要です。

	ページ
番組の視聴予約をする	48
番組の録画、録画予約をする	····· 50
録画した番組をみる、編集する	56

● 番組の視聴予約をする



番組を予約する

まだ放送が始まっていない番組を視聴予約することがで きます。テレビを見ているときに、開始時刻になると、 メッセージが画面に表示されます。キャンセルを選択す ると表示が消えます。現在見ている番組を続けて見られ

リモコンの「番組表」を押して、番組視聴を予約します。

- **1 「番組表**]を押し、予約したい番組を選び**[決定]** を押す
- **2** 視聴予約 → OK を選択する

視聴予約した番組に青い「予」マークが付きます。

日時を指定して視聴する

- [番組表]を押し、予約したい番組を選び [決定] を押す
- **2 視聴予約 → 時間指定予約**を選択する
- 3 各項目を設定し、OK を選択する 日付:視聴予約の日付を設定します。 開始時間:視聴予約番組の時刻を設定します。 繰り返し:視聴予約回数を一回、毎日または 毎週 に設定することができます。

(お知らせ)

● 予約した番組は視聴年齢制限番組の場合、暗証番号を 入力する必要があります。

予約を確認する

1 [メニュー]を押し、TV メニュー → 視聴予約一覧を 選択し、「決定」を押す 予約が確認できます。



お知らせ)

● [番組表]を押し、[青]を押し、視聴予約一覧を選択 し、予約も確認できます。

予約を削除する

- **1** [メニュー]を押し、TV メニュー → 視聴予約一覧を 選択し、 [決定] を押す
- 2 削除したい番組を選び、[>]を押す

全て削除を選択すれば、視聴予約一覧の番組はすべて 削除します。

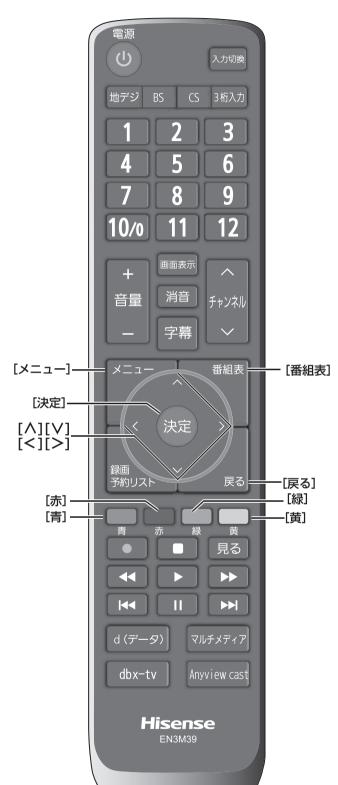
お知らせ)

● [番組表]を押し、予約した番組を選び、【決定】を 押すと、視聴予約が削除できます。

予約を変更する

- **1** [メニュー]を押し、TVメニュー → 視聴予約一覧を 選択し、「決定」を押す
- **2** 編集したい番組を選び、**【決定】**を押す 予約設定が変更できます。

● 番組の録画、録画予約をする



USB ハードディスクを登録する

- USB ハブを経由して、USB ハードディスクを使用す ることはできません。
- 本機で USB ハードディスクに録画した映像は、他の 機器での再生はできません。(本機と同じ型番でも再 生できません。)
- 他の機器で使用すると、再フォーマットが必要となり 録画した番組がすべて削除されます。
- 故障で本機を修理した場合などは、USB ハードディ スクに録画した番組を本機で再生できなくなります。
- 本機が対応している USB ハードディスクの容量(公 称値) は 160GB 以上ですが、最大で 4TB まで対応 できます。
- ◆ 本機は USB2.0、USB3.0 規格に対応しています。
- 本機は USB メモリーでの録画には対応しません。 USB2.0、USB3.0 規格ハードディスクのみで録画 できます。USB 延長コードを使用した場合、録画効 果に影響することがあります。

本機に未登録の USB ハードディスクを接続する場合、予約 や録画機能を使用すれば、登録画面が表示されます。

- **1** [メニュー]を押し、設定メニューが表示される
- 2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理を選択する
- 接続している USB ハードディスクを選び、[緑] を押す

「ディスク登録しました。」と表示されたら、登録し ます。

お知らせ)

● 録画が始まった時、録画された番組は登録された機器 に保存します。録画された番組は本機の録画一覧((PVR 専用)でしか再生できません。

登録を確認するには

- **1** [メニュー]を押し、設定メニューが表示される
- 2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理を選択する [USB 機器管理] 画面で USB 機器の登録状態や容 量などが確認できます。

USB ハードディスクを取り外す

本機に接続した USB ハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、必ず先に以下の操作を行ってください。

- **1** [メニュー] を押し、設定メニューが表示される
- **2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理**を選択する
- **3** 接続している USB ハードディスクを選び、**[黄]** を押す

「USBディスクを取り出しました。」と表示されたら、接続ケーブルを抜くか、電源を切っても安全です。

USB ハードディスクの登録を削除する

- **1 「メニュー**] を押し、**設定メニュー**が表示される
- 2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理を選択する
- **3** 接続している USB ハードディスクを選び、[**縁**] を押す

お知らせ)

- 登録を削除した USB ハードディスクの番組は再生できません。また、再度登録するとフォーマットを行い、USB ハードディスク内のすべてのデータを消去します。したがって、登録を削除すると、それまでに録画した番組は再生できなくなりますので、ご注意ください。
- 一度 USB ハードディスクを取り外し、もう一度接続 し直すか、本機の電源を一度切り、再度電源を入れる と再度登録する必要があります。

USB ハードディスクの残量を確認する

- **1** [メニュー]を押し、**設定メニュー**が表示される
- 2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理を選択する [USB 機器管理] 画面で接続している USB ハード ディスクの全容量 / 空容量が表示され、その録画残 量時間が確認できます。

USB ハードディスクの表示名の変更をする

- **1** [メニュー]を押し、設定メニューが表示される
- 2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理を選択する
- **3** 接続している USB ハードディスクを選び、**[赤]**を押す USB ハード ディスクの表示名を変更することができます。



番組の録画、録画予約をする(つづき)

録画について

本機の不具合など何らかの要因で外部接続機器などに記録できなかった場合、また不具合・修理などで本製品または外部接続機器の記録内容が破損、消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

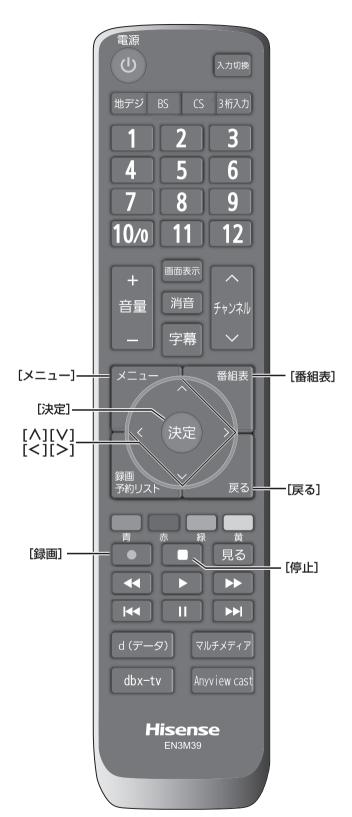
放送画質と録画時間			
HDD 容量 1TB HDD 容量 5000			
地上デジタル放送 HD	約 120 時間	約 60 時間	
BS デジタル放送 HD	約 86 時間	約43時間	

(デジタル放送の著作権保護について)

● 本機では著作権保護により、コピー禁止の情報が付加されている放送番組や映像ソフトは、録画することができません。

録画するときのご注意

- 電源を押してから、USB ハードディスクが起動する まで、USB ハードディスクに録画したり、入ってい る録画番組にアクセスすることはできません。
- ◆ 本機は、デジタル放送を2番組同時に録画すること やラジオ放送、独立データ放送の録画はできません。
- 録画を一時停止することはできません。
- テレビ放送に連動したデータ放送は録画されますが、 録画した後で再生した場合、データ放送の内容によっては操作できない場合があります。
- デジタル放送の受信状態が悪い(画面がきちんと表示されない、音声がとぎれる)場合、録画を行うと、番組の先頭部分や途中部分が切れたりすることがあります。
- 録画中に録画が禁止されている番組または映像になると、録画が停止します。
- 保存できる録画番組の数は、USB ハードディスク 1 台あたり最大 3.000 個です。
- 停電などで録画が中断した場合、再び電源が入っても 録画の再開はされません。また録画された番組を正し く再生できない場合があります。
- 録画中はメニュー、番組表、録画番組の画面を表示するのに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。
- 録画途中でUSB ハードディスクを取り外さないでください。無理に取り外すと、ハードディスクの損害や本機異常発生の原因となります。
- 放送中の番組を録画途中で、番組にイベントリレーがある場合、自動録画ができなくなります。予約録画中に、イベントリレーがある場合は自動的に録画します。



放送中の番組を録画する

放送中の番組を、録画時間を選択して録画することができます。

- 2 機器設定 → 録画設定 → USB 機器管理を選択する [USB 機器管理] 画面で録画可能時間を確認します。
- 3 [●] (録画) を押す

お知らせ

- [V] を押して録画状態バーが表示され、録画開始を選択し、録画を開始することもできます。
- 録画一覧で録画中と表示される番組は同時に見ることができます。
- 録画プロテクトと設定された映像が削除できません。 録画プロテクトを解除した後、削除できるようになります。
- 残量が足りない時、「残量不足です。」と表示されます。 お客様が他の録画映像を削除する必要があります。

録画を途中でやめる

1 [■] (停止) または[V]を押し、停止を選択する

(お知らせ)

録画中、本機をスタンバイにしても、録画を続けます。電源プラグは絶対に抜かないでください。

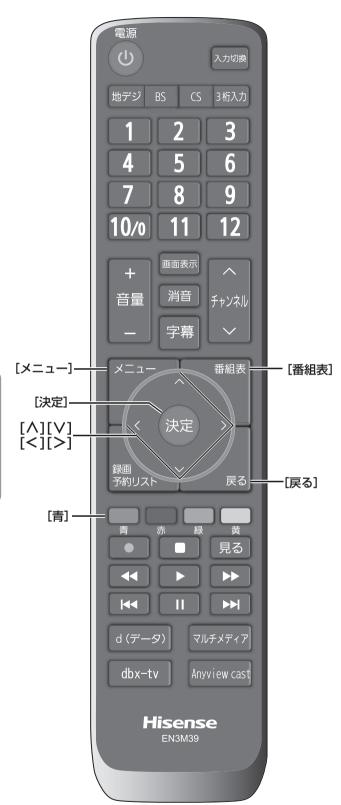
番組を探して録画予約する

まだ放送が始まっていない番組を録画予約することができます。

- **1** [番組表]を押し、予約したい番組を選び、【決定】 を押す
- **2** 録画予約 → OK を選択する 赤い「予」マークが録画予約した番組に付きます。



番組の録画、録画予約をする(つづき)



日時を指定して録画予約する

- **1** [番組表]を押し、予約したい番組を選び、 **[決定]** を押す
- 2 録画予約 → 時間指定予約を選択する
- 3 各項目を設定し、**OK** を選択する

日付:録画する日付を設定します。

開始時間:録画したい番組の開始時刻を設定します。 **終了時間**:録画したい番組の終了時刻を設定します。 **繰り返し**:一回予約する、毎日予約する、毎週予約す

るのいずれかを選択します。

記録機器:録画機器の種類を設定します。

ファイル保護:オンにすると、番組にプロテクトが付

きます。

予約を確認する

1 [メニュー]を押し、TVメニュー → **録画予約一覧**を 選択し、**【決定】**を押す 予約が確認できます。



お知らせ)

■ [番組表]を押し、 [青]を押し、録画予約一覧を選択 し、予約も確認できます。

予約を削除する

- **1** [メニュー]を押し、TV メニュー → 録画予約一覧を 選択し、「決定」を押す
- **2** 削除したい番組を選び、[>]を押す

全て削除を選択すれば、録画予約一覧の番組はすべて削除します。

お知らせ)

● [番組表]を押し、予約した番組を選び、【決定】 を押すと、録画予約が削除できます。

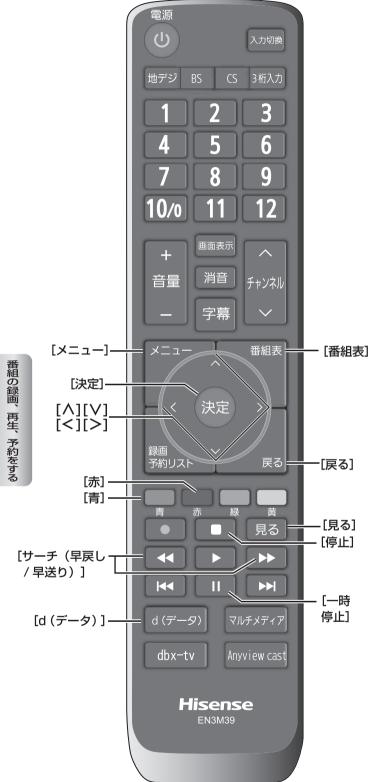
予約を変更する

- **1** [メニュー]を押し、TVメニュー → 録画予約一覧を 選択し、 [決定] を押す
- 2 編集したい番組を選び、【決定】を押す 予約設定が変更できます。

お知らせ

● 録画予約をした後に電源コンセントを抜いたり、停電があった場合、再度電源が復旧してもその後の録画予約の録画は行われません。録画予約がある場合は、スタンバイ状態のままにするか、電源が復旧した後に一度テレビの電源をオンにするとその後の録画予約が有効になります。

● 録画した番組を見る、編集する



見るから選ぶ

録画した番組を一覧画面で表示して選択することで、再 生することができます。

1「見る]を押す



2[^]/[~]/[<]/[>]を押し、見たい録画 番組を選択して、[決定]を押す

再生が開始されます。再生を停止する場合は、【■】 (停止)を押します。[戻る]を押すと、放送に戻ります。

お知らせう

- ●[d(データ)] を押すと、選択した番組の情報を表示し
- ●未視聴の録画番組には「NEW」が付きます。
- ●前回、再生を途中で停止した USB ハードディスクの 録画番組を再生する場合、最初から、続きからのいずれ かを選択することができます。
- 複数の USB ハードディスクが接続されている場合、「 黄1を押して、USB ハードディスクを選択すること ができます。
- USB ハードディスクの容量が足りない場合、 が不足してます」とのメッセージが表示されます。 手動で他の録画した番組を削除する必要があります。

いろいろな再生のしかた

ある場面を止めてみる	再生中に [**!](一時停 止) を押す	もとに戻すには、 [▶](再生) を押す。
再生を停止する	再生中に [■](停止) または[戻る] を押す	もとに戻すには、 [決定] を押す。
早送り再生	再生中に 【▶▶ 】を押 す	押すたびに早送り速度 が速くなります。(5 段 階) もとに戻すには【▶】 (再生) を押す。
早戻し再生	再生中に 【 ◀ 】を押 す	押すたびに早戻し速度 が速くなります。(5 段 階) もとに戻すには【▶】 (再生) を押す。

再生中に再生バーが表示されます。再生バーを操作することで再生速度を制御することもできます。



番組を録画しながら再生する

録画中の番組を、録画しながら再生することができます (追いかけ再生)。

1 「見る] を押す

2 [∧]/[∨]/[<]/[>] を押し、見たい録画中の番組(赤丸が付いた録画実行中)を選択して、[**決定**]を押す

再生が開始されます。再生を停止する場合は、**[■]** (**停止**)を押します。

お知らせ

●追いかけ再生の場合、再生している映像に影響がでる場合があります。

録画した番組を消去する

1 [見る]を押す

- **2** [∧]/[∨]/[<]/[>] を押して、削除したい録画番組を選択する
- 3 [赤] を押し、OK を選択する

お知らせ

● [メニュー]を押し、TV メニューから録画番組一覧を選択し、[決定]を押すと、録画番組リストで画面の指示に従って、削除したい録画番組が消去できます。

複数の番組を一括で消去する

- 1 [見る]を押す
- **2** [青]を押し、削除したい録画番組を選択する 続けて削除したい番組を選び、[決定]を押します。
- 3 [赤] を押し、OK を選択する

(お知らせ)

●[青]を押し、削除したい録画番組を選択し、再度[青]を押して全て選択(プロテクトをかけた番組を除く)します。

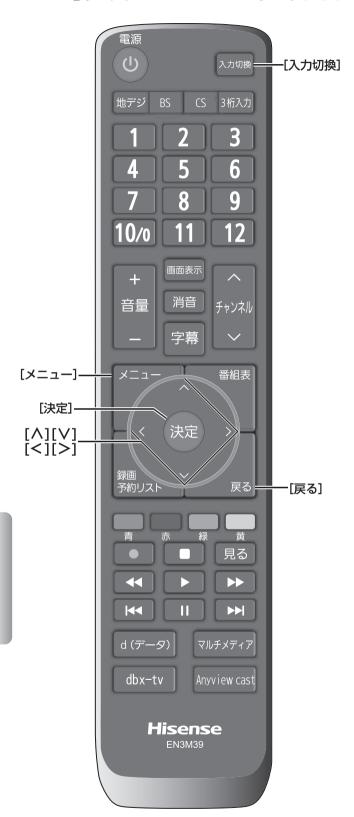
接続した機器を使う

この章では、他の機器を接続した場合の操作方法についてご説明いたします。

		ページ
接続し	ノた機器の映像を見る	60
写真、	動画や音楽を再生する	61

59

●接続した機器の映像を見る



接続を確認する

接続を確認してください。

□ 入力を切り換える

1「入力切換] を押す **2** [**∧**] / [**∨**] を押し、切り替えたい入力を選ぶ

お知らせ)

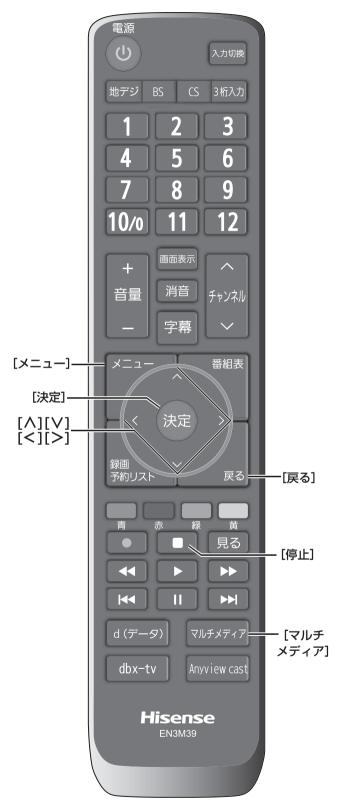
●接続する外部機器に合わせて、入力表示を変更するこ とができます。

€ 接続した機器を再生する

接続した機器の取扱説明書をご覧いただき、機器を再生 してください。



■ 写真、動画や音楽を再生する



接続を確認する

接続を確認してください。

USB 機器内の写真を再生する

PC で保存した USB ハードディスク、USB メモリー 内にある写真(画像)を見ることができます。 表示可能な画像データは、JPEG/BMP/PNG 形式で す。その以外の写真 (プログレッシブ JPEG 形式、 JPEG2000 形式) は再生できません。

- **1** [マルチメディア]を押し、写真または全てのいずれ かを選択し、 【決定】を押す
- **2 外付け機器**を選択し、**[決定]** を押す
- **3** 再生したいフォルダーまたは写真を選び、【決定】を 押す

再生画面で、次の操作ができます。

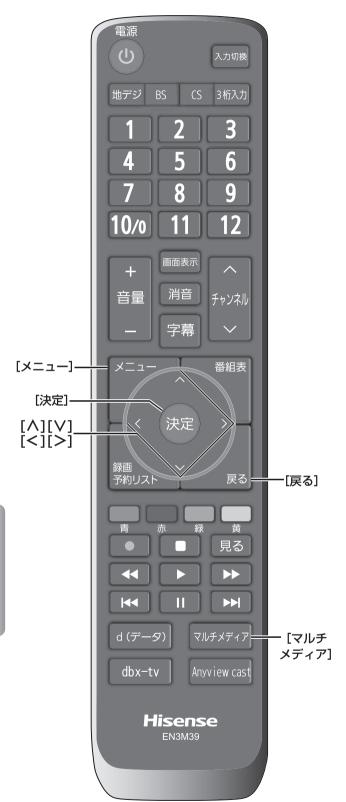
- 「∨]を押すと、サムネイル画面が表示されます。
- [へ]/[戻る]を押すと、サムネイル画面が消されます。
- [く]/[>]を押すと、前/次の写真を再生します。
- [■](停止) または [戻る] を押すと、再生画面から 戻ります。

スライドショーの設定をする

- 再生画面で【決定】を押し、スライドショーを開始し ます。もう一度【決定】を押すと、スライドショー画 面から戻ります。
- 再生画面で【メニュー】を押し、スライドショーなど の詳細設定ができます。



写真、動画や音楽を再生する(つづき)



USB 機器内の動画を再生する

PC で保存した USB ハードディスク、USB メモリー内にある動画を見ることができます。

- **1** [マルチメディア]を押し、**動画**または**全て**のいずれかを選択し、**[決定]**を押す
- **ク 外付け機器**を選択し、**[決定]** を押す
- **3** 再生したいフォルダーまたは動画を選び、**【決定】**を 押す

再生画面で、次の操作ができます。

[■] (停止) または **[戻る]** を押すと、再生画面から 戻ります。

USB 機器内の音楽を再生する

PC で保存した USB ハードディスク、USB メモリー内にある音楽を見ることができます。

- **1** [マルチメディア]を押し、音楽または全てのいずれかを選択し、[決定]を押す
- **ク 外付け機器**を選択し、**[決定]** を押す
- **3** 再生したいフォルダーまたは音楽を選び、**【決定】**を 押す

再生画面で、次の操作ができます。

[**〈**] / [**〉**] を押すと、前 / 次の音楽を再生します。 [**決定**] / [**II**] (一時停止) を押すと、音楽再生を一時 停止します。もう一度 [**決定**] / [▶] (再生) を押すと、 音楽を再生します。

[■] (停止) または **[戻る]** を押すと、再生画面から 戻ります。

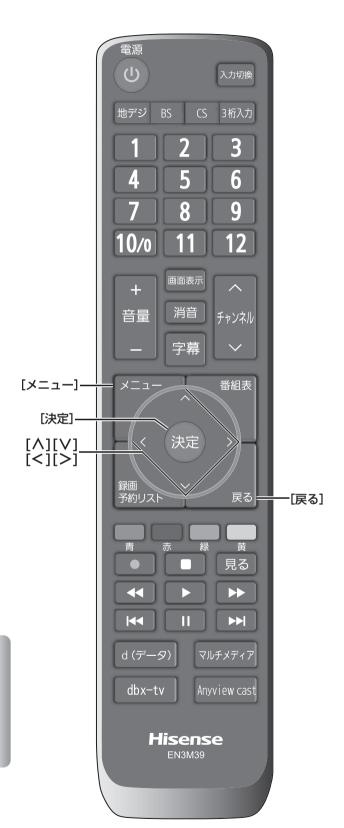
設定をする

この章では設定メニューを使っての設定・操作方法についてご説明いたします。

	ページ
設定メニューについて	64
設定メニューから設定をする	······65
TV メニューについて	······72



● 設定メニューについて



本機をご使用いただく上での基本的な設定は、設定メ ニューを使って設定できます。



基本的な操作

設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組 み合わせで行います。

- **1** [メニュー] を押すと設定メニューが表示され
- 2 「 ∧ 1/「 ∨ 1 を押して項目を選び、「決定 1 を押
- 3[∧]/[∨]または[く]/[>]を押し、項目 を選択して、[決定]を押す
- **4** [**戻る**] を押すと 1 つ前の画面に戻る

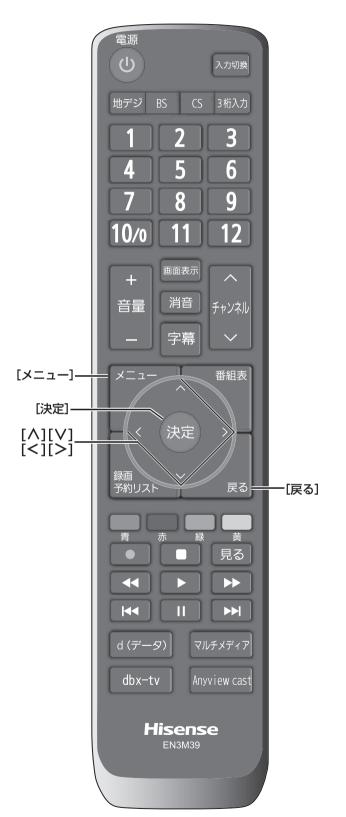
お知らせ)

●現在選択されている画面で設定できない項目は薄く表示 されます。

設定メニュー

設定項目	設定内容
映像設定	映像に関連する設定をします。
音声設定	音声に関連する設定をします。
チャンネル設定	チャンネルに関連する設定をします。
機器設定	本機に関連する設定をします。

● 設定メニューから設定をする



メニュー中の基本操作

「メニュー]→

[決定]

希望する項目を選択し

選択の決定

[決定] を押す

[戻る]

 $[\land]/[\lor]/[\gt]/[\lt]$

選択・調整を確定し、

項目の選択、調整

一つ前の画面に戻る

映像設定

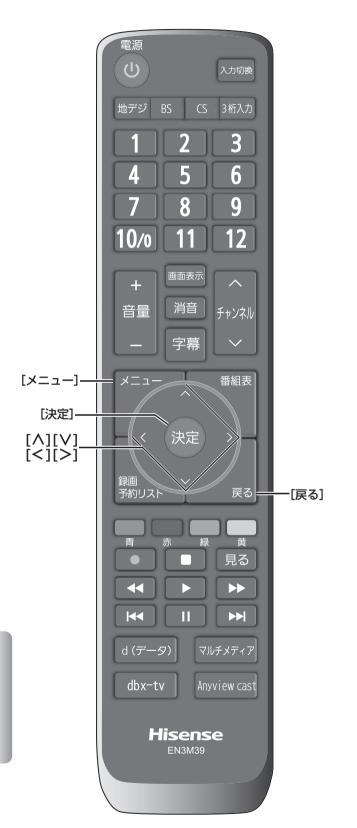


設定項目	切換項目	設定内容
映像モード	スタンダード / ダイナミック / スポーツ / 映 画 / ユーザー	映像モードでお好みの画質 に設定します。
明るさ	0~100	部屋の明るさに合わせた 濃淡、明るさに調整します。
コントラスト	0~100	画像のコントラストを調整します。
色の濃さ	0~100	お好みの濃さにします。
色あい	- 50 ~ +50	肌色がきれいに見えるよ うにします。
シャープネス	0~20	画像のシャープネスを調整 します。 やわらかな画質 ←→ くっきりとした画質
縦横比	自動 / ワイド / ノーマル (4:3) / パノラマ / 映画 / ズーム / ダイレ クト	画像の表示サイズを調整します。
オーバースキャン	オン/オフ	オーバースキャン(画面の 周辺部を表示しない)のオ ン / オフを切り替えます。

(次ページへつづく)



設定メニューから設定をする (つづき)



映像設定(つづき)

(つづき)

彭	定項目	切換項目	設定内容
	ダイナミック バックライト		画像のバックライトの明るさを調整します。
バ	バックライト	0~100	画像のバックライトを調 整します。
ックライト	ECO センサー	オン/オフ	ECO センサーで部屋の 環境に合わせて画像の明 るさを自動的に調整しま す。消費電力を抑えて省 電力になります。
	ECO 最小 バックライ ト	0~20	ECO センサーをオンに すると、バックライトを 最小の明るさに自動調整 します。バックライトを 手動で調整した場合は作 動しません。
包	温度	低/中/高	色温度を調整します。
ノイズリダク ション		オフ/低/ 中/高	ノイズを軽減します。
	ナミック トラスト	オン / オフ	画像のコントラストを自 動調整します。
ホワイトバランス		R- オフセット G- オフセット B- オフセット R- ゲイン G- ゲイン B- ゲイン	画像の赤、緑、青の明る さを調整し、画像の色を 調整します。
		ホワイトバ ランスの 初期化	すべての映像設定をお買い上げ時の設定に戻しま す。
リセット		OK/ キャンセル	お買い上げ時の設定に戻 します。

お知らせ)

● 入力によって、映像モードの切換方式が違います。

音声設定



設定	項目	切換項目	設定内容
音声	モード	スタンダード/シ アター/音楽/ス ピーチ/ナイトモ ード	映像内容に合わ せて設定します。
音声	音声言語	日本語	音声言語を選択 します。
換	二重音声	_	音声を選択します。
バラン	ス	-50~50	左右の音声のバ ランスを調整し ます。
イコライザー		イコライザー (120HZ) イコライザー (500HZ) イコライザー (1.5KHZ) イコライザー (5KHZ) イコライザー (10KHZ)	音声入力に合わ せた音声に調整 します。
	Total Sonics®	オン / オフ	お好みに合わせ
dbx-tv	Total Volume®	オフ / ノーマル / ナイト	て音声効果を設定します。
Total Surround®		オン / オフ	Æ069°
スピー	スピーカー コントロー ル	オン/オフ	スピーカーから 音声が出力され るように設定し ます。
カ I	リップシン ク	0~10	映像に対する音 ズレを調整しま す。

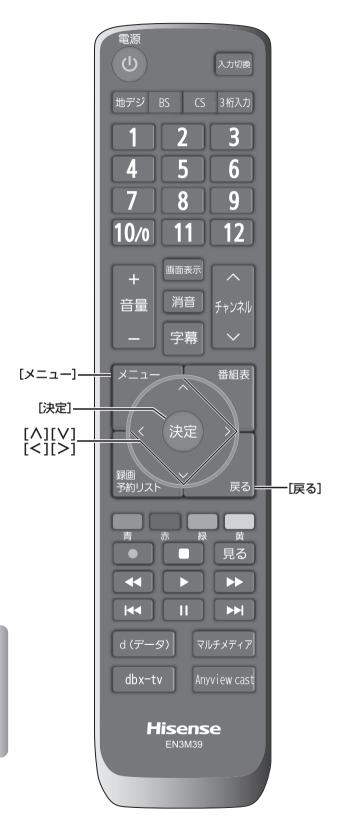
(右へつづく)

(つづき)

設定項目		切換項目	設定内容
デジタル音声出力	モード	オフ / PCM/ ビットストリーム	音響機器の入力モードに合った音声出力を選択します。例えば、5.1chサラウンドがある場合、ビットストリームするに設定します。ドルビーデジタルに対応はていないオーディオ機器に接続する場合は PCM設定します。
	ディレイ	0~25	デジタル音声出力の時間 を遅延させて、スピーカ ーからの出力と映像のズ レが無いように調整しま す。
ARC		オン/オフ	接続されているスピーカ 一から音声を出力します。
ヘッドホン	ヘッド ホン優 先	オン/オフ	オンに設定すると、ヘッドホンを挿した時、本体の音声が出力されません。オフに設定すると、本体のスピーカーとヘッドホン両方から音声が出力されます。
	ヘッド ホン音 量	0~100	ヘッドホンの音量を調整 します。
リセット		OK/キャンセル	音声設定をお買い上げ時 の設定に戻します。



設定メニューから設定をする(つづき)



チャンネル設定



設定項目		扣協頂口	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1
設定項目		切換項目	設定内容
チャンネ	初期 スキャン	-	初めてスキャンする場合、郵便番号、地域、衛星電源などの設定が必要です。
・ルスキャン	再 スキャン	I	再スキャンする場合、上 記の設定は必要ありませ ん。
視聴制	暗証番 号変更	ı	視聴制限の暗証番号を変更します。この場合、既存の暗証番号を入力してから、新しい暗証番号を設定してください。
限	視聴可能年齢	無制限、 4~20歳	視聴制限年齢を選択します。
	視聴制限 の初期化	OK/キャンセル	お買い上げ時の設定に戻します。
受信	地上波	アッテネーター / 信号レベル	地上波の受信設定をします。放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときはアッテネーターをオンに設定し、電波を弱めてください。
設定	衛星放送	アンテナ電源 / 信号レベル	アンテナ電源:オンにすると衛星アンテナのコンバータへ電源を供給します。(ブースターなどからコンバータへ電源を供給しているときはオフにしてください)

(次ページへつづく)

(つづき)

設	定項目	切換項目	設定内容
チャ	地上波	_	
ンネ	BS	_	チャンネルの割り当てを
ル	CS1	_	編集します。
設定	CS2	_	
	選局対象	全チャンネル / 設定チャンネル / テレビのみ	チャンネル順送り選局で チャンネル一覧の種類を 設定します。放送中の全 チャンネル、チャンネル 設定で設定したチャンネ ル、放送中のテレビ番組 のいずれか選ぶことがで きます。
チャンネル と時計表示		オン / オフ	チャンネルと時間を画面 に表示するかを選択しま す。
放	送メール	_	放送メールの情報を表示 します。
	S からの 知らせ	CS1 ボード / CS2 ボード	CS ボードの情報を表示 します。
B-C/	AS カード	カードステータ ス / カード ID 番号 / カード ID/ カードグル ープ ID/B-CAS カードテスト	B-CAS カードの情報を 表示します。

お知らせ)

パスワードをお忘れになった場合、ハイセンスジャパンのサポートセンターに問い合わせてください。

機器設定

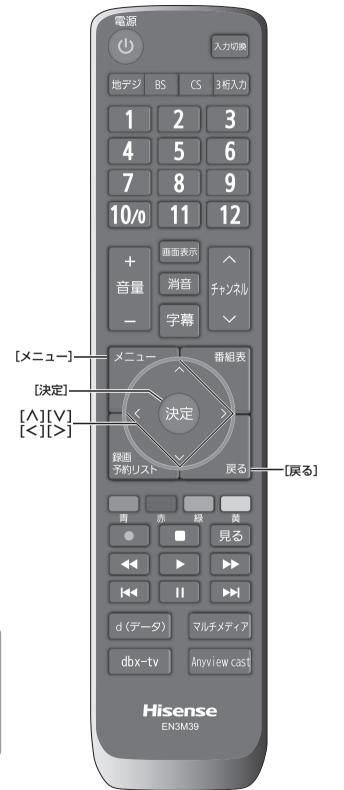


設定項目		切換項目	設定内容
	Wi-Fi	利用可能なネットワーク	検索できたワイヤレス ネットワークの一覧を表示 します。
ネッ	VVI-FI	WPS 経由の接続 / 新しいネットワークを追加	[WPS 経由] または [新 しいネットワークを追加 する] を選択して Wi-Fi に接続します。
トワ	イーサ	インターネット 接続	インターネット接続状態 を表示します。
l ク	ネット	詳細オプション	プロキシまたは IP アド レスを設定します。
	Anyview Cast	_	スマートホンやパソコンの映像をテレビで表示します。 テレビ側:Anyview Castアプリに入ります。 スマートホン側:テレビとパソコンや他の携帯機器と接続します。
録画設定	USB 機器 管理	_	録画内容を保存するハードディスクを設置します。録画用のハードデる場所のハードデる場合、登録が必要でする。登録したハードディスクのみ録画ができます。(詳細はUSBディスク登録をご参照ください)
	録画ボ タン設 定	録画終了まで/ 3時間録画	録画時間を設定します。 番組終了を選択する場合、番組が終了するまで 録画します。3時間を選 択する場合、3時間を録画します。

(次ページへつづく)



設定メニューから設定をする(つづき)



(つづき)

	(つづき)		
設定項目		切換項目	設定内容
	字幕	表示: オン/オフ	字幕表示をオン・オフに します。
		言語:日本語	字幕の言語を選択します。
表示	文字 スー	表示: オン/オフ	文字スーパー表示をオン ・オフにします。
の設	パー	言語: 英語/日本語	字幕の言語を選択します。
定	入力 名前 変更	_	入力信号の表示名を変更 します。
	メニュ ー 表示時間	10秒/20秒/ 30秒/60秒/ オフ	メニューの表示時間を設定します。
高道	束起動	オン / オフ	高速起動機能をオン/オフにします。
本何期(本の初 比	すべて消去 / キャ ンセル	お客様が設定した内容や チャンネル情報をすべて 削除して、お買い上げ時 の設定に戻します。
本体情報		本体名 / 自動ファ ームウェア・アー プデート / ファー ムウェア・アープ デート確認 / モデ ル / バージョン / ライセンス情報	本体情報を表示します。
	日付	_	現在の日付を表示します。
	時刻	_	現在の時刻を表示します。
日付		繰り返し設定	オフタイマーの頻度を設 定します。
と時刻	電源 オフ タイ	時間	オフタイマーを設定します。(繰り返し設定をオフにすると、この機能は無効となります。)
	マー	曜日	毎週のオフタイマー時刻 を設定します。(繰り返 し設定を毎週にした場合、 有効となります。)
	無信号 オフ	オン/オフ	入力信号終了15分間後 電源が自動的にオフしま す。
	無操作オフ	オン/オフ	4時間操作無しの場合、 電源が自動的にオフしま す。
言語		English/ 日本語	メニューの表示言語を選 択します。

(次ページへつづく)

(つづき)

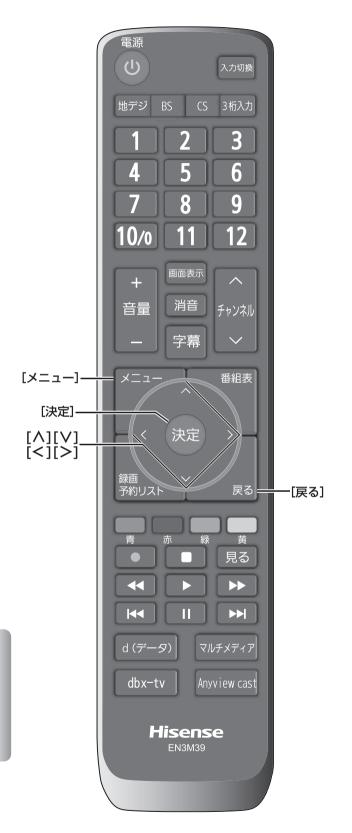
設定項目		切換項目	設定内容
+	現在のキ ーボード	ı	キーボードを設定します。
ボ ド	設定	Ι	キーボードの表示方法を 設定します。
C E C 機能	HDMI 制御	オン/オフ	テレビで HDMI 対応機器 を操作できます。
	デバイ スの自 動電源 オフ	オン/オフ	オンにすると、テレビの 電源を切ったら、CEC 機器も同時に電源を切 ります。
	テレビ の自動 電源オ ン	オン/オフ	オンにすると、CEC 機 器の電源を入れるとテ レビの電源もオンにな ります。
	CEC 装置の リスト	_	接続されている CEC 機器一覧を表示します。
位 置	住所 一覧	_	住所を設定します。
情報	郵便 番号	_	郵便番号を設定します。

お知らせ

- ネットワークを設定する場合は、テレビと同じネットワーク内にあることを必ず確認してください。機器によっては対応しないことがあります。
- お買い上げ時の設定に戻すと、録画した番組は再生できません。
- CEC 機能を利用する場合は、HDMI CEC 対応機器を オンにします。

HDMI CEC リンクに対応していない HDMI 機器に接続する場合、HDMI -CEC の機能が使用できません。接続した HDMI 機器により、HDMI-CEC リンクが使用できないことがあります。

● TV メニューについて



● テレビ放送を見ているときや予約一覧画面表示中などに[メニュー]を押し、TVメニューを選択すると、今の画面に関連する機能を呼び出すことができます。



設定項目	設定内容
入力切換	接続している外部機器の映像に切り換えます。
録画	録画についての設定を行います。
番組表	番組表を表示します。
録画予約一覧	視聴予約したリストが表示され、それにつ いての設定を行います。
録画番組一覧	録画番組一覧が表示され、それについての 設定を行います。
視聴予約一覧	視聴予約したリストが表示され、それにつ いての設定を行います。

その他の情報

この章では、故障かなと思った場合の対処方法や用語の説明など、必要 に応じてご参照いただく内容を記載しています。

	ページ
故障かな? と思ったら	74
用語の解説	78
主な仕様	80
ライセンスおよび商標などについて	88
無線の周波数について	89
バージョンアップについて	90
保証とアフターサービス	91



故障かな?と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の点をご確認ください。

- アンテナ線や電源コード、その他の接続
- 入力切換の設定

以下の状態は故障ではありません。

画面の中に、点灯したままの点、または点灯 しない点がある

画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能などにおよぼす悪影響もありません。

デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る

デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、映像の解像度が変化するときに、同期信号など白い線が見えることがあります。

豪雨や豪雪のときに、映像が乱れたり、まっ たく映らなくなったりする

衛星放送のアンテナは、比較的天候の影響を受けやすいため、豪雨や豪雪の際は受信感度が落ちることがあります。受信する地域が晴れていても、放映している地域の 天候が悪いと、映りが悪くなることがあります。

深夜一時的に映像が映らなくなる

春分の日や秋分の日の前後 20 日程度は、人工衛星が地球の陰に入るため、深夜一時的に映像が見られなくなることがあります。

原因と対策

●全般

問題	原因	対策
	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
映像も音も出ない。	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。
電源が突然切れた/い	スリープタイマーが設定されている。	スリープタイマーをオフにしてください。
つの間にか切れていた。	無信号電源オフが働いた。	再度電源を入れてください。
	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き(+ -)で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
リモコンが動作しない。	本機のリモコン受光部に、強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たっていると、操作を受け付けない場合があります。カーテンやその他の遮へい物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

●映像(全般)

問題	原因	対策
色がおかしい/画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。

●映像(デジタル放送)

問題	原因	対策
	強風などでアンテナの向きが変わっている。	アンテナの向きを適切に調整してください。
映像も音も出ない。	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。
	アンテナ電源が「切」になっている。	アンテナ電源を「入」に設定してください。
	B-CAS カードが適切に挿入されていない。	適切に挿入してください。
地上デジタルの受信設	アンテナが適切に接続されていない。	地上デジタルアンテナ入力にアンテナをしっかりと接 続してください。
定ができない / 放送を 受信できない。	アンテナが地上デジタルに対応していない。	地上デジタルに対応したアンテナを使用してください。
<u>Даселого</u>	チャンネル設定をしていない。	チャンネル設定をしてください。
	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	受信レベルが 50 以上になるようにアンテナの位置 /方向 / 角度を適切に調整してください。
地上デジタルが映らな い/画像が乱れる。	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめ ください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をしなおしてください。
	ブースターのレベルを上げすぎている。	ブースターのレベルを下げてください。
	衛星アンテナがデジタル放送受信に対応していない。	デジタル放送に対応しているアンテナをご利用ください。
BS デジタル /110度	衛星アンテナの前に障害物がある。	障害物を取り除くか、アンテナの取り付け位置を変更 してください。
CS デジタルが映らな	衛星アンテナに雪が付着している。	雪を取り除いてください。
い/画像が乱れる。(衛星アンテナを直接つな	衛星アンテナのコネクターの防水が不十分。	防水型のコネクターをご利用ください。
いでいる場合)	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。
	衛星アンテナの電源が入っていない。	衛星アンテナの電源は「オン」にしてください。
	衛星アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	適切に調整してください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(マンションなどの共同受信システムの場合)		適切に差し込んでください。
	分波が適切でない。	サテライト U/V 分波器で、VHF/UHF と BS デジタル /110 度 CS デジタルを分波してください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(複 数の BS 機器をサテラ イト分配器でつないでいる場合)	衛星アンテナ用電源を供給する機器のスイッチが「オン」になっていない。	「オン」にしてください。
CS デジタルが映らな	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめ ください。
	指定されたケーブルを使用していない。	指定されたケーブルを使用してください。
	有料チャンネルの受信申し込みが完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
BS デジタルは映るの	アンテナや分配器、ブースターなどが 110 度 CS デジタルに対応していない。	110 度 CS デジタルに対応したものをお使いください。
に、110 度 CS デジタ ルが映らない。	衛星アンテナレベルの設定が不適切。	適切に設定してください。
	受信契約が完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。



故障かな?と思ったら(つづき)

●接続した機器について

問題	原因	対策
	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
接続した機器の映像が	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。
出ない。	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
ビデオの再生 / 録画時 に縞状のノイズが出る。		ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。

●音声(全般)

問題	原因	対策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない/左右の音量に 差がある。		設定メニューでバランスを調整してください。

●音声(デジタル放送)

問題	原因	対策
音声が出ない/音声がおかしい。	主音声/副音声の設定が適切でない。	主音声 / 副音声の設定をしなおしてください。

●音声(接続した機器)

問題	原因	対策
画像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
7d.U 10	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。

●番組表

問題	原因	対策
番組表や他チャンネル リストが表示されない	一定時間視聴するか、スタンバイにしないと表示され ません。	しばらくお待ちいただくか、スタンバイにしてくださ い。
チャンネルがある。	お住まいの地域が変った。あるいは前回のチャンネル スキャン後に放送周波数が変更された。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネル スキャンをしなおしてください。
チャンネルスキャンで表 示される番組が少ない。	電源を切っている間は、放送局が送信する番組情報を 取得できないため。	しばらくお待ちください。
	番組説明ではひとつのジャンルのみが表示されますが、	1 つの番組が複数のジャンルを持っており、それぞれ
地上デジタルの放送局 のロゴが表示されない。	一定時間視聴しないと、表示されません。	しばらくそのままお待ちください。

その他の情報

● USB ハードディスクへの録画や編集について

問題	原因	対策
	USB ハードディスクを USB 端子にきちんと接続していない。	USB ハードディスクの接続を確認してください
録画できない。	接続した USB ハードディスクを登録し、録画用に設定していない。	USB ハードディスクを録画用に設定する必要があります。
33,611	録画禁止の番組を録画しようとしている。	番組内容でご確認ください。
	USB ハードディスクの残量が少ない。	不要になった番組を消去してください。
	ラジオ放送は録画できない。	番組内容でご確認ください。
録画予約が実行されない。	録画予約した後、録画用に設定した USB ハードディスクを外している。	本体の電源を「切」にしていると録画予約が実行されません。 録画予約中はリモコンで電源「切」にしてください。
録画番組を消去できな い。 番組にプロテクト設定をした。		プロテクト設定を変更してください。
録画番組の一部または、 すべてが消えた。	録画や再生中に停電になったり、電源プラグが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、USBハードディスクが使えなくなる場合があります。	_
データ放送の録画ができない。	本機では録画できません。	_
	天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生 した場合に発生することがあります。	
再生していると途中で 映像が乱れたり、ノイ	アスペクト比(映像の横縦比)や解像度の異なる場面 のつなぎ目では、一瞬画像が乱れたり、黒い画面にな る場合があります。	_
ズが出たりする。	番組と番組のつなぎ目部分など、正しい画面が出るまで静止画になったりモザイク状のノイズが出る場合があります。	
	シーンの切り換わりで、映像や音声が切れたりする場合があります。	

●その他

しての他			
問題	原因	対策	
[チャンネル ∧]/ [チャンネル ∨]	お買い上げ時は、デジタル放送の放送サービス (テレビ、ラジオ、独立データ)内で順送りに選局します。	ご覧になっている放送 (地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル)と放送サービス (テレビ、ラジオ、独立データ)をご確認ください。	
で選局できない。	チャンネル登録されてない。	チャンネル登録をしてください。	
	複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	代表チャンネル以外は選択できませんので、代表チャンネルで選局してください。	
	LAN 回線に適切につながっていない。	ペイパービューの購入には LAN 回線への接続が必要ですので、適切に接続してください。	
ペイパービューなどの	LAN 回線の種類などが適切でない。	回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。	
有料放送が購入できな い。	購入可能時間以外に購入しようとした。	番組によっては購入可能時間が設定されていますので、購入可能時間内に購入してください。	
	購入可能件数を超えている。	購入可能件数を超えると購入できませんので、購入できるようになるまでお待ちください。	
設定が正しく反映されない。	本機に設定が反映(記録)される前に電源を切った。	デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後(約2分以内)に電源プラグを抜くと、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定をしなおしてください。	
メニューが表示されな い。	入力によっては表示されないメニューもあります。	入力を切り換えてください。	
リモコンの数字ボタン のチャンネル割り当て がおかしい。	チャンネル設定の都道府県地域設定が適切でない。	お住まいの都道府県地域を適切に設定し、チャンネル スキャンをしなおしてください。	

●用語の解説

下記は一般的な用語解説です。本機の仕様は異なっている場合があります。

110度 CS デジタル放送

BS デジタル放送の放送衛星(BS) と同じ東経 110 度 に打ち上げられた通信衛星(CS) を利用した新しいデジタル放送です。多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルのみを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

5.1ch

左右のフロントスピーカー、センタースピーカー、左右のサラウンドスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。臨場感と迫力のある音声を楽しむことができます。

AAC (Advanced Audio Coding)

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声圧縮方式 です。高い圧縮率で高い音質を実現します。

B-CAS カード

デジタル放送を見るために必要な IC カードです。ユーザー認識のための番号や、チャンネルの契約・購入内容などの情報が記録されます。

BS デジタル放送

2000 年 12 月から本格サービスが開始された新しい衛星放送です。高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。高音質のデジタル音声放送(BS ラジオ)、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組などへの参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

CATV(ケーブルテレビ)

同軸ケーブルや光ケーブルなどのケーブルを用いて行われる有線放送のことです。ケーブルテレビ局と契約することにより視聴できます。地域密着型の情報発信などが特徴でしたが、最近では多チャンネル放送や自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えてきています。

EPG (Electronic Program Guide)

デジタル放送で放送局から送られてくる番組データを利 用してつくる電子番組表のことです。

HDMI (High Definition Multimedia Interface)

PC とディスプレイの接続標準規格である DVI に、マルチチャンネル音声伝送機能や著作権保護機能、色差伝送機能を加えるなど AV 家電向けにアレンジしたインターフェースです。1 本で非圧縮の映像・音声信号と制御信号を伝送できるので、AV 機器間の連携が容易にできます。

MPEG (Moving Picture Experts Group)

デジタル動画圧縮技術の 1 つです。動画中の動く部分だけを保存するなどしてデータを圧縮します。デジタルテレビでは通常 MPEG-2 が採用されていますが、これは動画データを 40 分の 1 程度に圧縮することができます。

NTSC (National Television Standards Committee)

地上波アナログカラーテレビ放送の規格の1つで、日本や北米、中南米で採用されています。水平方向の走査線数が525本で毎秒30フレーム(1秒間に30回画面を書き換える)のインターレース方式で、水平走査周波数は15.75kHz、垂直走査周波数は60Hzです。

PCM (Pulse Code Modulation)

音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する方式の 1 つです。音楽 CD(CD-DA)はこの方式を採用しています。

PPV (Pay Per View)

番組単位で購入する有料番組のことです。

イベントリレー(放送時間変更対応)

番組の途中で割り込みがあったり、その他の理由で番組が放送予定時間内に終わらなかった場合に、他のチャンネルで引き続き放送を行うことです。

インターレース(飛び越し走査)

NTSC 方式のテレビやビデオの画像表示では、525 本の走査線があります。このうち、まず奇数段目の走査線262.5 本を 1/60 秒で描き(この画面を 1 フィールドといいます)、次に偶数段目を同様に描き、これを合わせることによって 525 本の完全な画像(フレーム)を作っていく方式です。「525i」「1125i」の「i」は、このインターレース(interlaced)を指しています。

コンポジット接続

通常の映像端子を使って映像信号を伝送する、最も普及している方式です。映像端子は通常 1 つのみで、音声端子と同じ形状で、色は黄色です。赤と白の音声出力と一緒に3本で接続するのが一般的です。

緊急警報放送

地上デジタル /BS デジタルのマルチ放送を利用し、地震などの災害時に放送される緊急ニュースなどを流します。

降雨対応放送

激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の 放送に平行して降雨に強い方式で同じ番組を放送するも のです。

字幕放送

せりふなどの音声を、文字にして画面に表示することが できる放送です。

走査線

テレビでは、映像を細い糸のように分解し、横方向に走らすことによって画面を作っています。この糸を走査線といいます。走査線の数が多いほど画質がよくなります。

地上デジタル放送

2003 年 12 月から一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHF の周波数帯域を利用して放送されます。ゴーストの無い高画質な映像と多チャンネルの放送を楽しむことができます。デジタルハイビジョン放送やデータ放送、双方向サービスなどを楽しむことができます。

デジタルハイビジョン放送

通常のアナログ放送の走査線が525本であるのに対し、1125本や750本のプログレッシブの高画質な映像です。大画面の映像に適しています。

プログレッシブ(順次走査)

飛び越し走査(「インターレース」の項目を参照)をしないで、全ての走査線を順番に描く方法です。インターレースに比べて画像のチラツキが少なく、文字や静止画を表示することに適しています。「525p」や「750p」の「p」はプログレッシブ(progressive)を指しています。

マルチチャンネル放送

地上デジタルや BS デジタルの標準テレビ信号 (SD) で、1 つの放送局で複数の番組を放送することです。

マルチビュー放送

前述のマルチチャンネルの技術を使って、同じ番組を別の視点から見た映像を見るなど、複数の映像を切り換えて見ることができます。

有効走査線数

走査線の中で、映像信号が載っている走査線の数をいいます。地上アナログでは525本の走査線のうち有効走査線数は480本、デジタルハイビジョンでは1125本のうち1080本となっています。有効走査線ではない走査線には、画面の縦横比を規定した識別制御信号などが載っています。

臨時放送

前述のマルチチャンネルの技術を使って、同一放送局の 他チャンネルで臨時の放送を行うことです。

物理チャンネル

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており(13~62ch)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。



●主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型名		43A6100	50A6100
サイズ		43V 型	50V 型
本体色 / 素材		前面: ヘアラインブラック / 背面: マットブラック	
電源		AC100V ·	50/60Hz 内蔵
消費電力*1		100W	110W
待機電力		0	5W
	での電源 OFF 時)		
年間消費電力		88kWh	98kWh
省エネ基準2012年度)	達成率(目標年度	193%	220%
	画面サイズ (横 × 縦) (mm)	953 × 578	1096 × 616
	バックライト	直下雪	DLED
液晶機能	画素数	3840 >	×2160
/IX BB IX BC	パネルコントラスト	4000	D: 1
	視野角(上下/左 右、CR値>10)	178° / 178°	
	応答速度	8	ms
	チューナー *3	地上デジタル ×2 / BS・110 度 CS デジタル ×2	
チューナー	受信可能チャンネル・	地上デジタル UHF、CATV(パススルー方式の CATV*4)、000-999 BS・110 度 CS デジタル放送の各チャンネル	
ビデオ機能	HDMI 入力	480i / 480p / 720p / 1080i / 1080p	
	構成	内蔵ステレオ 1 ウェイ	
スピーカー	脱着	不可	
	出力	7W×2	10W × 2
音声機能	音声多重	あり	
	サラウンド	あり	
	アンテナ端子	地上デジタル / BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子各 1	
	 映像入力	コンポジットビデオ入力端子 (RCA ピン) × 1	
	7 1.00	HDMI 入力端子×3(ARC、MHL、CEC 機能に対応する)	
 入出力端子	 音声入力	ビデオ音声入力端子(RCA ピン) × 1	
7(00)3/10 3	2, , (,)	HDMI入力端子×3(映像入力と一体)	
	 音声出力	光デジタル音声出力端子×1*5	
	l 目 P 山 J	ステレオヘッドホン出力端子(ステレオミニジャック)× 1	
	外付け USB ハー ドディスク接続	USB2.0 対応× 1、USB3.0 対応× 1 * 6	
		EPG(電子番組表、当日を含めて 8 日分)/ データ放送 / 字幕放送	
デジタル放送関連		双方向(データ放送)サービス・イーサネット(RJ-45 端子)×1	
		miniB-CAS カードスロット×1	

録画 / 再生機能関連(外付け USB ハードディスク接続時)		録画機能(クイックタイマー録画(裏 マニュアル録画(時間指定録画)	録画)/ 番組表からの録画 /	
		再生機能 (再生 / 早送り再生 / 早戻し再生 / 追いかけ再生)		
		編集機能(タイトル設定)、写真、ビデオ、音楽再生機能		
赤外線リモ	コン	専用リモコン EN3M39		
チルト&フ	スイーベル機能	チルトなし スイ	ーベルなし	
壁掛け対応		あり [VESA: 200) × 200]	
付属品		取扱説明書、保証書、AC(電源)ケーブル、リモコン、 単四電池[2 本]、miniB-CAS カード(レッドカード)、 台座部品[1 式]、転倒防止用ひも[1 式]		
使用環境・	温度	使用環境:5℃~ 35℃ 保管環境	:-20°C ~ 60°C	
保管環境	湿度(結露なき こと)	使用環境:20% ~ 65% RH 保管環境:10% ~ 80% RH		
	高さ	使用環境:0 ~ 1,980m 保管環境	∄:0 ~ 2,980m	
本体寸法(幅×高さ×	スタンド含む	970 × 608 × 213	1127 × 718 × 244	
奥行)(mm)	スタンド含まない	970 × 573 × 71	1127 × 661 × 73	
本体重量	スタンド含む	8.0	12.0	
(kg)	スタンド含まない	7.9	11.7	

^{*1} 定格消費電力電気用品安全法に基づき算出しています。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

^{*2}年間消費電力量は省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

^{*3} 地上 /BS/110度CS デジタル番組を視聴中、放送の裏番組を同時に録画することができます。

^{*4}同一周波数パススルー方式(UHF)、周波数変換パススルー方式(VHF)の両方に対応します。

^{*5} 地上デジタル/BS·11 O度 CS デジタル/HDMI だけに対応します。

^{*6} USBメモリーを接続して写真表示することもできます。



主な仕様(つづき)

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

型名		55A6100	65A6100	
サイズ		55V 型	65V 型	
本体色 / 素材		前面 : ヘアラインブラック / 背面 : マットブラック		
電源		AC100V・50/60Hz 内蔵		
消費電力*1		160W	190W	
待機電力		0	.5W	
	での電源 OFF 時)	<u> </u>		
年間消費電力	J *2	140kWh	141kWh	
省エネ基準 2012年度)	達成率(目標年度	177%	223%	
	画面サイズ (横 x 縦) (mm)	1209 × 680	1428 × 804	
	バックライト	直下雪	型LED	
液晶機能	画素数	3840 × 2160		
	パネルコントラスト	4000	D:1	
	視野角(上下/左 右、CR値>10)	178° / 178°		
	応答速度	8ms		
	チューナー *3	地上デジタル ×2 / BS・110 度 CS デジタル ×2		
チューナー	受信可能チャンネル・	地上デジタル UHF、CATV(パススルー方式の CATV*4)、000-99 BS・110 度 CS デジタル放送の各チャンネル		
ビデオ機能	HDMI入力	480i / 480p / 720p / 1080i / 1080p		
	構成	内蔵ステレオ1ウェイ		
スピーカー	脱着	不可		
	出力	10W × 2	15W × 2	
音声機能	音声多重	あ	Ŋ	
	サラウンド	あり		
	アンテナ端子	地上デジタル / BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子各 1		
	映像入力	コンポジットビデオ入力端子 (RCA ピン) × 1		
	以際ノくノゴ	HDMI 入力端子×3(ARC、MHL、CEC 機能に対応する)		
 入出力端子	 音声入力	ビデオ音声入力端子(RCA ピン) × 1		
7(11)	L, 7173	HDMI入力端子×3(映像入力と一体)		
	 音声出力	光デジタル音声出力端子×1*5		
		ステレオヘッドホン出力端子(ステレオミニジャック)× 1		
	外付け USB ハー ドディスク接続	USB2.0 対応× 1、USB3.0 対応× 1 * 6		
		EPG(電子番組表、当日を含めて 8 日分)/ データ放送 / 字幕放送		
デジタル放送関連		双方向(データ放送)サービス・イーサネット(RJ-45 端子)×1		
		miniB-CAS カードスロット×1		

録画 / 再生機能関連(外付け USB ハードディスク接続時)		録画機能(クイックタイマー録画(裏録画)/ 番組表からの録画 / マニュアル録画(時間指定録画)	
		再生機能 (再生 / 早送り再生 / 早戻し再生 / 追いかけ再生)	
		編集機能(タイトル設定)、写真、ビデオ、音楽再生機能	
赤外線リモ	コン	専用リモコン EN3M39	
チルト&フ	スイーベル機能	チルトなし スイ	ーベルなし
壁掛け対応		あり [VESA: 300 × 200]	あり [VESA: 400 × 200]
付属品		取扱説明書、保証書、AC(電源)ケーブル、リモコン、 単四電池[2 本]、miniB-CAS カード(レッドカード)、 台座部品[1 式]、転倒防止用ひも[1 式]	
使用環境・	温度	使用環境:5℃~ 35℃ 保管環境	:-20°C ~ 60°C
保管環境	湿度(結露なき こと)	使用環境:20% ~ 65% RH 保管環境:10% ~ 80% RH	
	高さ	使用環境:0 ~ 1,980m 保管環境:0 ~ 2,980m	
本体寸法(幅×高さ×	スタンド含む	1242 × 780 × 244	1460 × 916 × 311
奥行) (mm)	スタンド含まない	1242 × 726 × 73	1460 × 847 × 76
本体重量	スタンド含む	14.3	20.2
(kg)	スタンド含まない	14.0	19.6

^{*1} 定格消費電力電気用品安全法に基づき算出しています。

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

^{*2}年間消費電力量は省エネ法に基づいて、工場出荷時の画質設定を標準設定として測定しています。

^{*3} 地上 /BS/110度CS デジタル番組を視聴中、放送の裏番組を同時に録画することができます。

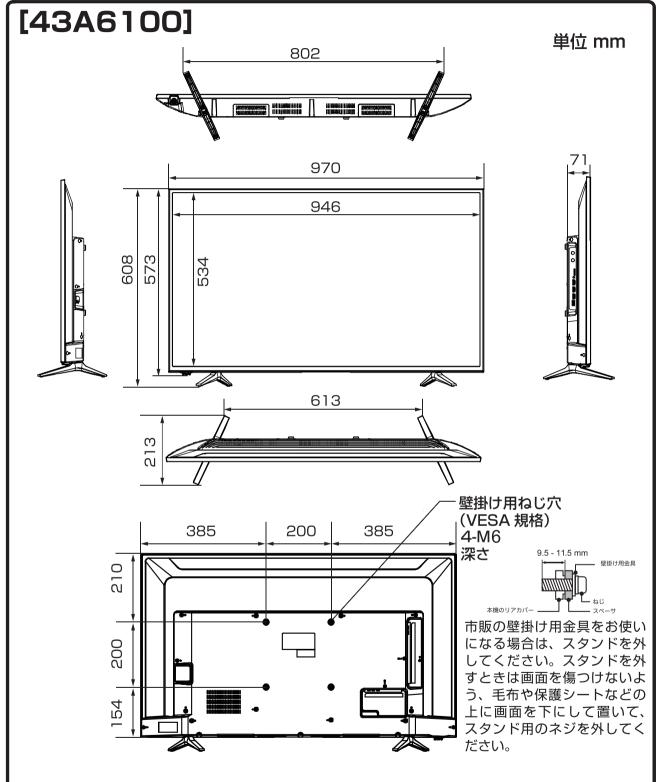
^{*4}同一周波数パススルー方式(UHF)、周波数変換パススルー方式(VHF)の両方に対応します。

^{*5} 地上デジタル/BS·11 O度 CS デジタル/HDMI だけに対応します。

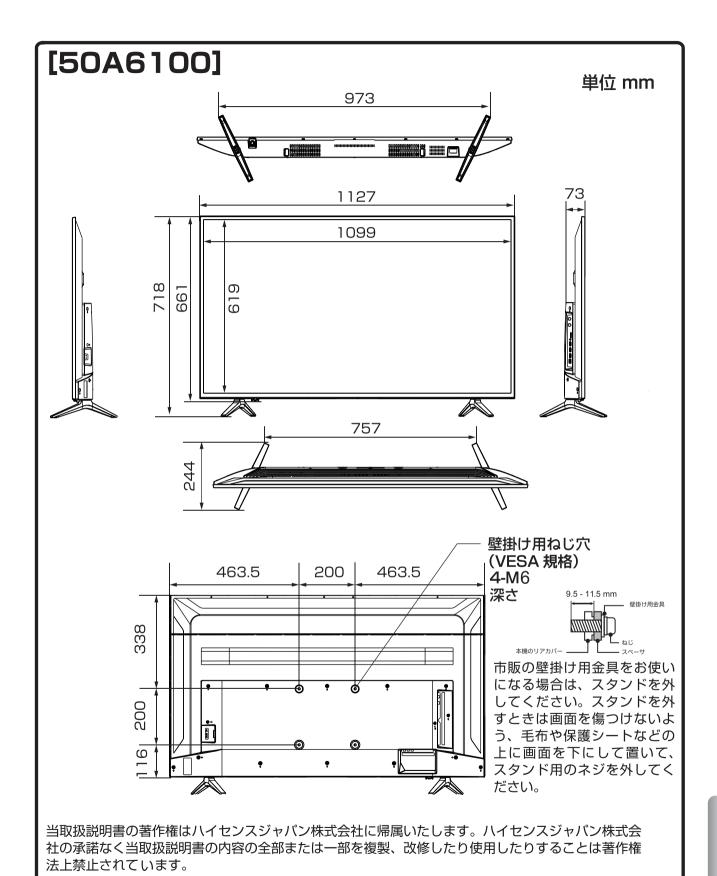
^{*6} USBメモリーを接続して写真表示することもできます。

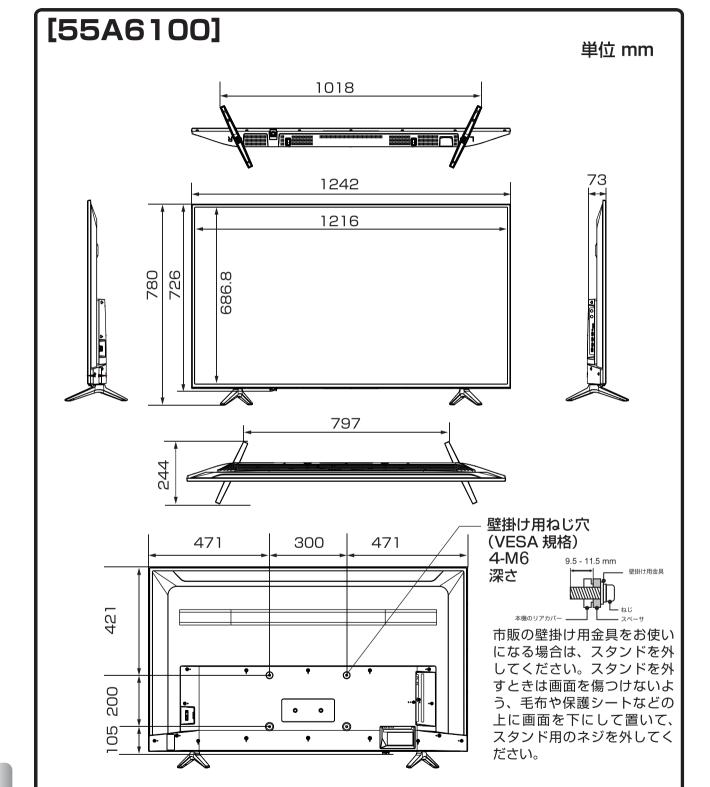


主な仕様(つづき)

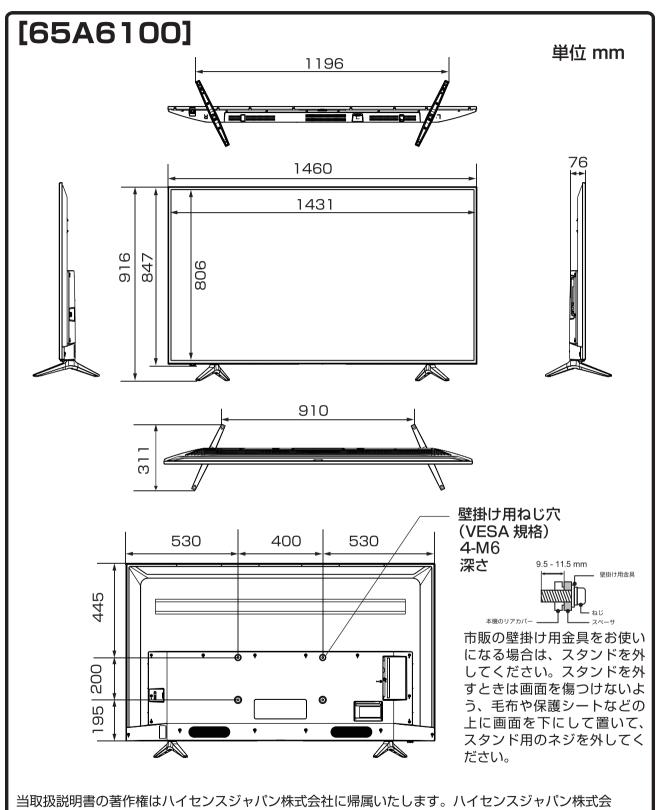


当取扱説明書の著作権はハイセンスジャパン株式会社に帰属いたします。ハイセンスジャパン株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されています。





当取扱説明書の著作権はハイセンスジャパン株式会社に帰属いたします。ハイセンスジャパン株式会社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されています。



社の承諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権 法上禁止されています。

● ライセンスおよび商標などについて

- HDMI、High Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC. の商標もしくは米国 およびその他の国における商標または登録商標です。
- MHL、MHL のロゴ、および Mobile High-Definition Link は、米国およびその他の国における MHL.LLC の商標 または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、Dolby Audio ドルビー及びダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。
- 当取扱説明書の著作権はハイセンスジャパン株式会社に帰属いたします。ハイセンスジャパン株式会社の承諾なく 当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されています。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。 Dolby、Dolby Audio ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における商標または登録商標です。



NetFront®

本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。 ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国地 域における商標または登録商標です。



デジタル音声技術は、高品位な画面に合わせた高品質の音声を転送します。



無線の周波数について

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにお問い合わせいただき、混信回避のための処理など(たとえばパーティションの設置など)についてご相談ください。
- 3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波障害が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。 変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用し、 与干渉距離は 40m です。



この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。 FH1 は変調方式として FH-SS 方式を採用し、与干渉距離 は 10m です。

XX4 はその他の方式を採用し、与干渉距離は 40m です。

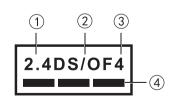
雷波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して 電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねま す。

- 本機内蔵の無線装置を分解 / 改造すること
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと

無線 LAN の周波数の見かた



① 使用周波数	2.4GHz / 5.0GHz
② 変調方式	DS-SS 方式/ OFDM 方式
③ 電波と干渉距離	40m 以下
④ 周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ構内無線機器と 特定小電力機器の帯域を回避可能であ ることを意味する。

準拠規格: IEEE802.11 a/b/g/n/ac

使用周波数範囲 / チャンネル(中心周波数)

2.412-2.472GHz/1-13ch, 14ch 5.180-5.240GHz/W52: 36, 40, 44, 48ch 5.260-5.320GHz/W53: 52, 56, 60, 64ch

5.500-5.700GHz/W56:

100, 104, 108, 112, 116, 120,124, 128, 132, 136, 140ch

セキュリティ:

WAP2-PSK(TKIP/AES) WPA-PSK(TKIP/AES) WEP(64bit/128bit)

※ 本機の無線装置を屋外で使用することは禁止されています。

バージョンアップについて

テレビの機能等を向上させるために、ソフトウェアのバージョンアップを提供します。バージョンアップ用ソフトウェアを自動受信できるように、本機がインターネットに接続されている必要があります。

お知らせ

事業者からのバージョンアップには対応していません。

自動更新

- 1 本機をあらかじめインターネットに接続する必要があります。LANケーブルか無線LANで接続することができます。詳しくはLAN接続をご参照ください。
- 2 [メニュー]を押し、設定メニューからシステム設定 →本体情報→自動ファームウェア・アップデートー オンを選択し、自動更新機能をオンにします。
- 3 自動更新をオンにすると、電源が入ったら、ソフトウェアの最新バージョンを自動的に検索します。最新バージョンが見つかれば、自動ダウンロード・検証に入ります。
- 4 ダウンロードが完了したら、検証を行います。検証 完了しますと、「バージョンアップ用ソフトウェア が準備完了です。バージョンアップしますか。」と 表示されます。[決定]を押し、自動的に再起動し バージョンアップします。
- 5 本機が再起動すると、新しいソフトウェアをインストールします。その後、自動的に再起動しメインシステムに入ります。

マニュアル更新

本機に自動更新をオンにしていない場合、手動で更新することができます。

- 1 本機をあらかじめインターネットに接続する必要があります。LANケーブルか無線LANで接続することができます。詳しくはLAN接続をご参照ください。
- 2 [メニュー]を押し、設定メニューからシステム設定→本体情報→ファームウェア・アップデート確認を選択し、マニュアル更新をすることができます。

• バージョン確認

サーバーに最新のソフトウェアがある場合、「新しい バージョンがありますが、バージョンアップします か。| と表示されます。

• ソフトウェアのダウンロード

サーバーからソフトウェアがダウンロードしますが、インターネットに接続したままにしてください。ソフトウェアのダウンロード中、「バックグランドで実行」を選択します。OKを押して、バージョンアップの画面を閉じます。ご使用に支障がありません。

• ソフトウェアの検証

ソフトウェアがダウンロード完了後、検証が自動的に 行われます。検証中でも、ダウンロードと同じように バックグランドで行うこともできます。 検証完了後、[バージョンアップが準備完了です。バ

検証完了後、[バージョンアップが準備完了です。バージョンアップしますか。] と表示されます。 [決定] で確定し、本機が再起動しバージョンアップします。

再起動して更新する

本機が再起動してソフトウェアがインストールされます。完了後、本機が再起動しメインシステムに入ります。



● 保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる 海外ではご利用いただけません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

保証書について

本機には保証書が添付されていますので、お買い上げの 際、販売店よりお受け取りください。所定事項の記入お よび記載内容をよくお読みいただき、大切に保存してく ださい。

保証期間は、お買い上げの日から3年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」をご参照いただき、故障かどう かお調べください。

それでも具合が悪いときは

弊社サポートセンターへお問い合わせください。

●電話によるお問い合わせ

受付時間: 月曜~金曜 9:30~18:00 (祝祭日、年末 年始、夏季休業期間を除く)

フリーダイヤル: 0120-835-111

● FAX によるお問い合わせ

FAX 番号: 0570-06-1117 (有料)

- ※ お客様のご連絡先、型番、購入年月日、お買い上げ店、 故障状況を詳しく記載してください。
- メールによるお問い合わせ

電子メールでのお問い合わせは http://www.hisense. co.jp のお問い合わせのページで受け付けています。お客 様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故 障状況を詳しく記載してください。

※ サポート受付に関しては変更させていただく場合がご ざいます。

弊社ホームページでサポート時間などをご確認の上、 ご利用されるようお願いいたします。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。 詳しくは保証書をご覧ください。

本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリー に保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかな る場合においても記録内容の補償およびそれに付随する あらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。 また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修 復は致しません。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有 料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 8年

この商品の補修用性能部品は、製造元が製造打ち切り後 8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するた めに必要な部品です。



保証とアフターサービス (つづき)

● ご相談になるときは以下のことをお知らせください。

型名:

製造番号:

使用状況や故障の状態(できるだけ詳しく):

購入年月日:

年 月 日

お買い上げ店

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検を!

このような症状はありませんか?

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像がときどき消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

異常があればご使用中止

事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。





ハイセンスジャパン株式会社

〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号 http://www.hisense.co.jp

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。 本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。

© Hisense Japan Corporation